

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	一般教養 I
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 訓読み・送り仮名① 2 訓読み・送り仮名② 3 熟語① 4 熟語② 5 熟語③ 6 異字同訓・同音異義 7 誤字訂正① 8 誤字訂正②・類義語 9 反対語 10 漢字の意味・使い方① 11 漢字の意味・使い方② 12 項目別模擬試験① 13 項目別模擬試験② 14 直前模擬試験① 15 直前模擬試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	IT基礎知識 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	IT基礎知識（テクノロジー分野・マネジメント分野・ストラテジ分野）について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と演習	
達成目標	IT基礎全般において基本的な理解を深める	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 ハードウェア I 2 基礎理論 3 問題演習 4 基礎理論 5 基礎理論 6 問題演習 7 ハードウェア II 8 ハードウェア II 9 問題演習 10 ハードウェア II 11 ソフトウェア 12 問題演習 13 ソフトウェア 14 ソフトウェア 15 問題演習	16 ソフトウェア、アルゴリズム 17 アルゴリズム 18 問題演習 19 アルゴリズム 20 データベース 21 問題演習 22 データベース 23 データベース 24 問題演習 25 ネットワーク 26 ネットワーク 27 問題演習 28 ネットワーク、セキュリティ 29 セキュリティ 30 問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 授業内でのチェックテストで評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	IT基礎知識 I		
実務家教員授業			
学部・学科	情報ビジネス学科		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	90時間		
授業コマ数	45コマ		
授業概要	IT基礎知識（テクノロジー分野・マネジメント分野・ストラテジ分野）について学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と演習		
達成目標	IT基礎全般において基本的な理解を深める		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	31 セキュリティ、システム構成要素 32 システム構成要素 33 問題演習 34 システム構成要素 35 マルチメディア 36 問題演習 37 システム開発 38 システム開発 39 問題演習 40 マネジメント 41 マネジメント 42 問題演習 43 ストラテジ 44 ストラテジ 45 問題演習		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 授業内でのチェックテストで評価		
備考			

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	IT基礎知識 II	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	IT基礎知識（テクノロジー分野・マネジメント分野・ストラテジ分野）について学ぶ	
授業の進め方	問題演習による試験対策	
達成目標	IT基礎全般において基本的な理解を深め、基本情報技術者試験の午前試験問題に正答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 項目別問題演習 テクノロジーⅠ 2 項目別問題演習 テクノロジーⅠ 3 項目別問題演習【解説】 4 項目別問題演習 テクノロジーⅡ 5 項目別問題演習 テクノロジーⅡ 6 項目別問題演習【解説】 7 項目別問題演習 テクノロジーⅢ 8 項目別問題演習 テクノロジーⅢ 9 項目別問題演習【解説】 10 項目別問題演習 テクノロジーⅣ 11 項目別問題演習 テクノロジーⅣ 12 項目別問題演習【解説】 13 項目別問題演習 マネジメント 14 項目別問題演習 マネジメント 15 項目別問題演習【解説】	16 項目別問題演習 ストラテジ 17 項目別問題演習 ストラテジ 18 項目別問題演習【解説】 19 総合問題演習Ⅰ 20 総合問題演習Ⅰ 21 総合問題演習【解説】 22 総合問題演習Ⅱ 23 総合問題演習Ⅱ 24 総合問題演習【解説】 25 総合問題演習Ⅲ 26 総合問題演習Ⅲ 27 総合問題演習【解説】 28 総合問題演習Ⅳ 29 総合問題演習Ⅳ 30 総合問題演習【解説】
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 授業内でのチェックテストで評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	IT基礎知識 II	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	IT基礎知識（テクノロジー分野・マネジメント分野・ストラテジ分野）について学ぶ	
授業の進め方	問題演習による試験対策	
達成目標	IT基礎全般において基本的な理解を深め、基本情報技術者試験の午前試験問題に正答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	31 総合問題演習V 32 総合問題演習V 33 総合問題演習【解説】 34 総合問題演習VI 35 総合問題演習VI 36 総合問題演習【解説】 37 試験直前問題演習I 38 試験直前問題演習I 39 試験直前問題演習【解説】 40 試験直前問題演習II 41 試験直前問題演習II 42 試験直前問題演習【解説】 43 試験直前問題演習III 44 試験直前問題演習III 45 試験直前問題演習【解説】	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 授業内でのチェックテストで評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	コンピュータリテラシー
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	Officeソフト（Word・Excel・PowerPoint）の操作について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実習
達成目標	Word、Excel、PowerPointの基本的な操作方法を身につける
教科書	情報利活用基本演習
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 コンピューターの基本操作 2 一般的なビジネス文書の作成 3 シンプルなレポートや報告書の作成 4 表・画像・図形を使った文書の作成 5 効果測定 6 プレゼンテーションの企画 7 わかりやすいストーリー構成 8 センスアップするレイアウトデザイン 9 イメージを伝えるイラスト・写真活用 10 効果測定 11 表作成の基本操作 12 見やすく使いやすい表にする編集操作 13 数式・関数を活用した集計表の作成 14 グラフの基本 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	Webシステム開発 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	HTML&CSS、JavaScriptの基本構文について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実習	
達成目標	JavaScriptとCSSを利用したWebページ作成ができる	
教科書	これからWebをはじめる人のHTML&CSS、JavaScriptのきほんのきほん	
特記		
授業計画	1 開発環境の構築 2 簡単なHTMLファイルの作成 3 HTMLタグの種類と使い方 4 CSSの使い方 5 スタイル調整 6 領域の分け方 7 画像の取扱い方法 8 リンクの設定 9 スマートフォンデバイスへの対応方法 10 親要素の指定を引き継ぐ 11 CSSアニメーションの使い方 12 CSSフレームワークの使用方法 13 グリッドシステムとは 14 フォームの作成 15 送信ボタンの設置	16 JavaScriptとは 17 変数について 18 日付の取扱い方 19 要素を取得し編集する 20 if構文 21 イベント処理 22 繰り返し処理 23 Ajax通信とは 24 JSONデータの使用方法 25 配列 26 for構文 27 非同期通信とは 28 jQueryとは 29 Vue.jsとjQueryを組み合わせる 30 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	Webシステム開発Ⅱ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	PHPの基本構文及びデータベース接続について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実習	
達成目標	PHPとデータベースを利用したWebアプリケーション開発ができる	
教科書	確かな力が身につくPHP「超」入門	
特記		
授業計画	1 PHPとは 2 PHPスクリプトの動かし方 3 PHPと他の言語の違い 4 PHPツールの準備 5 開発環境の準備 6 PHPスクリプトの実行方法 7 ブラウザにメッセージを表示する方法 8 文字化けについて 9 リクエストパラメータ 10 演算子と変数 11 if文 12 switch文 13 for文、while文 14 foreach文と配列 15 foreach文と配列のキー	16 foreach文とチェックボックス 17 日時の取得 18 画像のランダム表示 19 入力データの形式チェック 20 パスワードのチェック 21 全角から半角への変換 22 サーバへの保存 23 ファイルのアップロード 24 データベースとは 25 データベースの作成 26 データの取得 27 データの検索 28 データの追加 29 データの削除 30 データの更新
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	Webシステム開発Ⅱ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	PHPの基本構文及びデータベース接続について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実習	
達成目標	PHPとデータベースを利用したWebアプリケーション開発ができる	
教科書	確かな力が身につくPHP「超」入門	
特記		
授業計画	31 フォームの情報をテーブルに追加 32 SQLスクリプトでデータベースを作成 33 ログイン、ログアウト処理 34 入力情報の登録、更新 35 ショッピングカート機能の作成 36 セッションとは 37 お気に入り機能の作成 38 VirtualBoxで仮想環境を構築 39 資産管理システムとは 40 bootstrapの使用方法 41 MySQLのインストール 42 エラーメッセージの表示 43 WordPressにおけるPHPの活用 44 Web APIの使用 45 効果測定	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	Python	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	Pythonの基本構文とプログラムの実装について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実習	
達成目標	Pythonを利用したCUIベースのプログラム実装ができる	
教科書	新・明解 Python入門	
特記		
授業計画	1 Pythonの特徴 2 画面への表示とキーボード入力 3 制御・条件分岐 4 制御・条件分岐 5 制御・条件分岐 6 プログラムの構成要素 7 制御・繰り返し 8 制御・繰り返し 9 制御・繰り返し 10 オブジェクトと型 11 オブジェクトと型 12 文字列の基礎 13 文字列の操作 14 文字列の書式化 15 効果測定	16 リスト 17 リスト 18 リスト 19 リスト 20 タプル 21 辞書 22 集合 23 関数の基礎 24 関数の基礎 25 文書化文字列とアノテーション 26 名前空間とスコープ 27 高階関数とラムダ式 28 モジュール 29 パッケージ 30 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	Python		
実務家教員授業			
学部・学科	情報ビジネス学科		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択		
授業方法	実習		
授業時間	90時間		
授業コマ数	45コマ		
授業概要	Pythonの基本構文とプログラムの実装について学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と実習		
達成目標	Pythonを利用したCUIベースのプログラム実装ができる		
教科書	新・明解 Python入門		
特記			
授業計画	31	クラス	
	32	クラス	
	33	クラス変数とクラスメソッド	
	34	継承	
	35	継承	
	36	例外処理	
	37	例外処理	
	38	ファイル処理の基礎	
	39	ファイル処理の基礎	
	40	バイナリファイル	
	41	総合実習	
	42	総合実習	
	43	総合実習	
	44	総合実習	
	45	効果測定	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価		
備考			

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	サーバサイドフレームワーク	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	Djangoを使用したサーバサイドアプリケーションの仕組みについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実習	
達成目標	Djangoを使用したWebアプリケーション開発ができる	
教科書	動かして学ぶ! Python Django開発入門	
特記		
授業計画	1 Webアプリとは 2 Djangoの概要、全体像 3 Djangoプロジェクトの構造 4 ルーティング、ビューの概要 5 フォーム、モデル、テンプレートの概要 6 Webアプリ開発環境の構築 7 Webアプリ開発環境の構築 8 単一ページのDjangoアプリケーションを作成 9 単一ページのDjangoアプリケーションを作成 10 単一ページのDjangoアプリケーションを作成 11 単一ページのDjangoアプリケーションを作成 12 バージョン管理システムの構築 13 Bootstrapの適用 14 ベーステンプレートの作成 15 フォーム画面の作成	16 フォーム画面の作成 17 フォーム画面の作成 18 メール送信機能の作成 19 メール送信機能の作成 20 課題演習 21 課題演習 22 課題演習 23 課題演習 24 課題演習 25 認証用アプリケーションの作成 26 ユーザモデルの定義 27 Django認証機能の作成 28 Django認証機能の作成 29 Django認証機能のテンプレートの改変 30 Django認証機能のテンプレートの改変
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	サーバサイドフレームワーク		
実務家教員授業			
学部・学科	情報ビジネス学科		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択		
授業方法	実習		
授業時間	90時間		
授業コマ数	45コマ		
授業概要	Djangoを使用したサーバサイドアプリケーションの仕組みについて学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と実習		
達成目標	Djangoを使用したWebアプリケーション開発ができる		
教科書	動かして学ぶ! Python Django開発入門		
特記			
授業計画	31	モデルの作成	
	32	モデルの作成	
	33	Djangoアプリケーションにページを追加	
	34	Djangoアプリケーションにページを追加	
	35	Djangoアプリケーションにページを追加	
	36	Djangoアプリケーションにページを追加	
	37	Djangoアプリケーションとデータベースの連携	
	38	Djangoアプリケーションとデータベースの連携	
	39	Djangoアプリケーションとデータベースの連携	
	40	Djangoアプリケーションとデータベースの連携	
	41	Djangoアプリケーションとデータベースの連携	
	42	Djangoアプリケーションとデータベースの連携	
	43	エラーページの作成	
	44	バックアップ処理の作成	
	45	効果測定	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価		
備考			

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	Java	
実務家教員授業	○	
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	Javaの基本構文とオブジェクト指向プログラミングについて学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習	
達成目標	Javaを利用したオブジェクト指向のプログラミング開発ができる	
教科書	新・明解 Java入門 第2版	
特記	ITエンジニアとして、上流から下流まで幅広い作業工程の実務経験がある。その経験から、現場で即戦力となる為の職業実践的な教育をおこなう。	
授業計画	1 Javaの特徴・学習のための準備 2 変数 3 制御構文・分岐、if文 4 制御構文・分岐、switch文 キーワード・識別子・演算子 5 制御構文・繰り返し do-while文・while文 6 制御構文・繰り返し for文 7 基本型と演算 8 配列 9 配列 10 コレクション 11 制御構文・配列の実習 12 効果測定 13 メソッド 14 メソッド 15 クラスの基本	16 クラスの基本 17 日付クラスの作成 18 日付クラスの作成 19 クラス変数とクラスメソッド 20 クラス変数とクラスメソッド 21 パッケージ 22 クラスの派生と多相性 23 クラスの派生と多相性 24 クラスの派生と多相性 25 抽象クラス 26 抽象クラス 27 インタフェース 28 インタフェース 29 クラス・抽象クラス・インタフェースの実習 30 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	Java	
実務家教員授業	○	
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	Javaの基本構文とオブジェクト指向プログラミングについて学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習	
達成目標	Javaを利用したオブジェクト指向のプログラミング開発ができる	
教科書	新・明解 Java入門 第2版	
特記	ITエンジニアとして、上流から下流まで幅広い作業工程の実務経験がある。その経験から、現場で即戦力となる為の職業実践的な教育をおこなう。	
授業計画	31 文字と文字列 32 例外処理 33 総合実習 基礎 34 総合実習 基本的なプログラムの構造 35 総合実習 コンピュータで扱うデータ表現 36 総合実習 変数/定数と型 37 総合実習 演算と演算子 38 総合実習 配列の宣言・生成 39 総合実習 制御文 40 総合実習 クラスとオブジェクト 41 総合実習 クラスの関係 42 総合実習 クラスの継承 43 総合実習 例外処理 44 総合実習 45 効果測定	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	クラウド技術 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	クラウドの概要とAWSを利用したクラウドコンピューティングの実装方法について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実習	
達成目標	クラウド環境で高可用性を実現するWeb開発環境の実装ができる	
教科書	AWS Academyテキスト	
特記		
授業計画	1 クラウドのコンセプト 2 料金の基本 3 AWS グローバルインフラストラクチャ 4 AWS のサービスとサービスカテゴリ 5 AWS の責任共有モデル 6 クラウドのセキュリティ - AWS IAM 7 ネットワークの基本, Amazon VPC 8 VPC ネットワーク 9 VPC セキュリティ 10 VPC設定実習 11 Route 53, CloudFront 12 コンピューティングサービスの概要 13 Amazon EC2 14 Amazon EC2実習 15 Amazon EC2実習	16 Amazon EC2 のコスト最適化 17 コンテナサービス、AWS Lambda 18 AWS EBS 19 AWS S3 20 AWS EFS、AWS S3 Glacier 21 Amazon RDS 22 Amazon DynamoDB, Amazon Redshift 23 クラウドアーキテクチャの設計 24 Elastic Load Balancing 25 Amazon EC2 Auto Scaling 26 Amazon EC2 Auto Scaling実習 27 総合実習 28 総合実習 29 総合実習 30 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	Linux	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	LinuxOSの概要と基本操作について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実習	
達成目標	LinuxOSの基本的な操作を習得する	
教科書	Linux標準教科書(Ver. 3.0.3)	
特記		
授業計画	1	Linuxのインストール
	2	Linuxの概要
	3	基本的なコマンド
	4	基本的なコマンド
	5	正規表現とパイプ
	6	コマンド演習
	7	基本的なコマンド2
	8	基本的なコマンド2
	9	viエディタ
	10	エディタ演習
	11	管理者の仕事
	12	ユーザ権限とアクセス権
	13	アクセス権演習
	14	総合演習
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	AIプログラミング	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	機械学習フレームワークを利用した機械学習プログラムについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実習	
達成目標	前処理の実装、scikit-learnを使用した機械学習のモデル作成ができる	
教科書	スッキリわかるPythonによる機械学習入門	
特記		
授業計画	1 機械学習概要 2 基礎統計学 3 機械学習によるデータ分析の流れ 4 Pythonによる機械学習プログラミングの準備 5 pandasの基本 6 scikit-learnの基本 7 教師あり学習：分類 8 教師あり学習：分類 9 教師あり学習：分類 10 教師あり学習：回帰 11 教師あり学習：回帰 12 教師あり学習：回帰 13 分類におけるチューニング 14 分類におけるチューニング 15 分類におけるチューニング	16 回帰におけるチューニング 17 回帰におけるチューニング 18 回帰におけるチューニング 19 実習(教師あり学習：分類) 20 実習(教師あり学習：回帰) 21 効果測定 22 教師あり学習の総合演習 23 教師あり学習の総合演習 24 教師あり学習の総合演習 25 実践的前処理：データ結合、データ補完、外れ値除去 26 実践的前処理：データ結合、データ補完、外れ値除去 27 実践的前処理：データ結合、データ補完、外れ値除去 28 ロジスティック回帰、ランダムフォレスト、アダプースト 29 ロジスティック回帰、ランダムフォレスト、アダプースト 30 ロジスティック回帰、ランダムフォレスト、アダプースト
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	AIプログラミング	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	機械学習フレームワークを利用した機械学習プログラムについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実習	
達成目標	前処理の実装、scikit-learnを使用した機械学習のモデル作成ができる	
教科書	スッキリわかるPythonによる機械学習入門	
特記		
授業計画	31 予測性能評価：適合率、再現率、f1-score、k分割交差検証 32 予測性能評価：適合率、再現率、f1-score、k分割交差検証 33 予測性能評価：適合率、再現率、f1-score、k分割交差検証 34 教師なし学習：次元削減 35 教師なし学習：次元削減 36 教師なし学習：次元削減 37 実習(教師あり学習：分類、アダブースト) 38 実習(教師あり学習：分類、アダブースト) 39 実習(教師あり学習：分類、アダブースト) 40 実習(教師あり学習：分類、アダブースト) 41 実習(教師あり学習：回帰、k分割交差検証) 42 実習(教師あり学習：回帰、k分割交差検証) 43 実習(教師あり学習：回帰、k分割交差検証) 44 実習(教師あり学習：回帰、k分割交差検証) 45 効果測定	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	クラウドコンピューティングA	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	AWSのAIサービスを利用したプログラムの実装方法について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実習	
達成目標	AWSの各種AIサービスを使用したプログラム開発ができる	
教科書	AWSでつくるAIプログラミング入門	
特記		
授業計画	1 環境構築 2 Translate：テキスト翻訳 3 Translate：テキスト翻訳 4 Polly：音声合成 5 Polly：音声合成 6 翻訳、音声合成実習 7 Transcribe：音声をテキストに変換 8 Transcribe：音声をテキストに変換 9 音声変換実習 10 Rekognition：画像の分析 11 Rekognition：画像の分析 12 画像分析実習1 13 Rekognition：画像の分析 14 Rekognition：画像の分析 15 画像分析実習2	16 Textact：画像からテキストを抽出 17 Textact：画像からテキストを抽出 18 テキスト抽出実習 19 Comprehend：文章から話題や感情を抽出 20 Comprehend：文章から話題や感情を抽出 21 Comprehend：文章から話題や感情を抽出 22 話題、感情抽出実習1 23 話題、感情抽出実習2 24 開発演習 25 開発演習 26 開発演習 27 開発演習 28 開発演習 29 開発演習 30 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ITキャリアデザイン I
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	就職活動に関する基礎知識について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と演習
達成目標	就職活動に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 就職ガイダンス 2 自己分析 I 3 自己分析 II 4 自己分析 III 5 就活マナー 6 筆記試験対策 7 WEB選考対策 8 インターンシップの基礎知識 9 業界研究 I 10 業界研究 II 11 仕事研究 I 12 仕事研究 II 13 自己PR作成 14 SPI対策 15 CAB対策
成績評価方法 (試験実施方法)	提出物評価100% 授業内で取り組む提出課題で評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ITキャリアデザインⅡ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	就職活動に関する適性試験や面接試験対策について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と演習	
達成目標	適性試験や面接試験に関する知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 履歴書作成 2 履歴書作成 3 履歴書作成 4 業界研究 5 業界研究 6 業界研究 7 職種研究 8 職種研究 9 職種研究 10 企業研究シート作成 11 企業研究シート作成 12 企業研究シート作成 13 志望動機作成 14 志望動機作成 15 志望動機作成	16 入退室方法の確認 17 面接トレーニング 18 面接トレーニング 19 面接トレーニング 20 面接トレーニング 21 面接トレーニング 22 面接試験における質問研究 23 面接試験における質問研究 24 面接試験における質問研究 25 面接トレーニング 26 面接トレーニング 27 面接トレーニング 28 エントリーシート作成 29 エントリーシート作成 30 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	提出物評価100% 授業内で取り組む提出課題で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	簿記入門 I
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記の基本原理の理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 簿記の目的 (基礎編) 2 簿記一巡 (基礎編) 3 商品売買 I (基礎編) 4 商品売買 II (基礎編) 5 決算整理 (基礎編) 6 精算表 (基礎編) 7 現金および預金 (基礎編) 8 手形 (基礎編) 9 有形固定資産の決算整理 (基礎編) 10 その他の債権および債務 (基礎編) 11 その他の勘定および訂正仕訳 (基礎編) 12 有形固定資産の決算整理 (基礎編) 13 費用および収益の決算整理 (基礎編) 14 株式会社の純資産 (基礎編) 15 英米式決算法 (基礎編)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養 I
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	電卓技能の向上を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 電卓の使い方、端数の取り扱い 2 電卓演習① 3 電卓演習② 4 電卓演習③ 5 電卓演習④ 6 電卓演習⑤ 7 電卓演習⑥ 8 電卓演習⑦ 9 電卓演習⑧ 10 電卓演習⑨ 11 電卓演習⑩ 12 電卓演習⑪ 13 電卓演習⑫ 14 電卓演習⑬ 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザイン I
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	面接の入退室および自己PRができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 面接の基本 2 入退室の仕方 3 スーツの着こなし、身嗜み確認 4 自己PR作成① 5 自己PR作成② 6 自己PR作成③ 7 面接質問項目① 8 面接質問項目② 9 面接質問項目③ 10 会計事務所・企業研究① 11 会計事務所・企業研究① 12 模擬面接練習① 13 模擬面接練習② 14 模擬面接練習③ 15 模擬面接試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅡ
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 働くとは 2 業界研究 3 企業研究① 4 企業研究② 5 志望動機の作り方① 6 志望動機の作り方② 7 志望動機の作り方③ 8 志望動機の作り方④ 9 志望動機の作り方⑤ 10 書類送付方法 11 ビジネス電話 12 ビジネスメール 13 内定後学習① 14 内定後学習② 15 内定後学習③
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	Excel基礎	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理① 2 ワークシートやブックの作成と管理② 3 セルやセル範囲のデータの管理① 4 セルやセル範囲のデータの管理② 5 テーブルの作成① 6 テーブルの作成② 7 テーブルの作成③ 8 関数を使用してのデータ集計① 9 関数を使用してのデータ集計② 10 関数を使用してのデータ集計③ 11 関数を使用しての条件付き計算④ 12 関数を使用しての条件付き計算⑤ 13 関数を使用しての条件付き計算⑥ 14 関数を使用した文字列の整形や変更① 15 関数を使用した文字列の整形や変更②	16 関数を使用した文字列の整形や変更③ 17 グラフの作成① 18 グラフの作成② 19 グラフの作成③ 20 グラフの書式設定① 21 グラフの書式設定② 22 グラフの書式設定③ 23 グラフの書式設定④ 24 グラフの書式設定⑤ 25 オブジェクトの挿入や書式設定① 26 オブジェクトの挿入や書式設定② 27 オブジェクトの挿入や書式設定③ 28 オブジェクトの挿入や書式設定④ 29 オブジェクトの挿入や書式設定⑤ 30 オブジェクトの挿入や書式設定⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	2級商業簿記基礎 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社会計の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	決算整理を中心とした会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 簿記一巡の手続きと財務諸表（基礎編） 2 現金預金（基礎編） 3 債権・債務（基礎編） 4 棚卸資産（基礎編） 5 有価証券①（基礎編） 6 有価証券②（基礎編） 7 固定資産①（基礎編） 8 固定資産②（基礎編） 9 固定資産③（基礎編） 10 固定資産④（基礎編） 11 債務保証（基礎編） 12 引当金（基礎編） 13 収益と費用（基礎編） 14 為替換算会計（基礎編） 15 株式会社の純資産（基礎編）	16 企業結合（基礎編） 17 確認テスト（第1回） 18 税金①（基礎編） 19 税金②（基礎編） 20 伝票と帳簿（基礎編） 21 決算①（基礎編） 22 決算②（基礎編） 23 本支店会計①（基礎編） 24 本支店会計②（基礎編） 25 連結会計①（基礎編） 26 連結会計②（基礎編） 27 連結会計③（基礎編） 28 連結会計④（基礎編） 29 連結会計⑤（基礎編） 30 確認テスト（第2回）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	2級工業簿記基礎 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	伝統的な個別原価計算および総合原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 工業簿記の基礎（基礎編） 2 個別原価計算における工業簿記の記帳体系（基礎編） 3 材料費会計（基礎編） 4 労務費会計（基礎編） 5 経費会計（基礎編） 6 製造間接費会計（基礎編） 7 製造間接費差異の原因別分析（基礎編） 8 単純個別原価計算（基礎編） 9 工企業の財務諸表（基礎編） 10 確認テスト（第1回） 11 部門別計算①（基礎編） 12 部門別計算②（基礎編） 13 総合原価計算における工業簿記の記帳体系（基礎編） 14 単純総合原価計算（基礎編） 15 工程別総合原価計算（基礎編）	16 組別総合原価計算（基礎編） 17 等級別総合原価計算（基礎編） 18 減損および仕損（基礎編） 19 標準原価計算①（基礎編） 20 標準原価計算②（基礎編） 21 標準原価計算③（基礎編） 22 CVP分析①（基礎編） 23 CVP分析②（基礎編） 24 直接原価計算（基礎編） 25 工業簿記総まとめ①（基礎編） 26 工業簿記総まとめ②（基礎編） 27 工業簿記総まとめ③（基礎編） 28 工業簿記総まとめ④（基礎編） 29 工業簿記総まとめ⑤（基礎編） 30 確認テスト（第2回）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	2級簿記総合 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 商業簿記総まとめ① (基礎編) 2 商業簿記総まとめ② (基礎編) 3 商業簿記総まとめ③ (基礎編) 4 商業簿記総まとめ④ (基礎編) 5 商業簿記総まとめ⑤ (基礎編) 6 商業簿記総まとめ⑥ (基礎編) 7 商業簿記総まとめ⑦ (基礎編) 8 商業簿記総まとめ⑧ (基礎編) 9 商業簿記総まとめ⑨ (基礎編) 10 商業簿記総まとめ⑩ (基礎編) 11 商業簿記総まとめ⑪ (基礎編) 12 商業簿記総まとめ⑫ (基礎編) 13 工業簿記・原価計算総まとめ① (基礎編) 14 工業簿記・原価計算総まとめ② (基礎編) 15 工業簿記・原価計算総まとめ③ (基礎編)	16 工業簿記・原価計算総まとめ④ (基礎編) 17 工業簿記・原価計算総まとめ⑤ (基礎編) 18 工業簿記・原価計算総まとめ⑥ (基礎編) 19 総合問題対策① (商業簿記と工業簿記_基礎編) 20 総合問題対策② (商業簿記と工業簿記_基礎編) 21 総合問題対策③ (商業簿記と工業簿記_基礎編) 22 総合問題対策④ (商業簿記と工業簿記_基礎編) 23 総合問題対策⑤ (商業簿記と工業簿記_基礎編) 24 総合問題対策⑥ (商業簿記と工業簿記_基礎編) 25 総合問題対策⑦ (商業簿記と工業簿記_基礎編) 26 総合問題対策⑧ (商業簿記と工業簿記_基礎編) 27 総合問題対策⑨ (商業簿記と工業簿記_基礎編) 28 総合問題演習① (テスト形式_基礎編) 29 総合問題演習① (テスト形式_基礎編) 30 総合問題演習① (テスト形式_基礎編)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	2級簿記総合 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	31 総合問題演習② (テスト形式_基礎編) 32 総合問題演習② (テスト形式_基礎編) 33 総合問題演習② (テスト形式_基礎編) 34 総合問題演習③ (テスト形式_基礎編) 35 総合問題演習③ (テスト形式_基礎編) 36 総合問題演習③ (テスト形式_基礎編) 37 総合問題演習④ (テスト形式_基礎編) 38 総合問題演習④ (テスト形式_基礎編) 39 総合問題演習④ (テスト形式_基礎編) 40 総合問題演習⑤ (テスト形式_基礎編) 41 総合問題演習⑤ (テスト形式_基礎編) 42 総合問題演習⑥ (テスト形式_基礎編) 43 総合問題演習⑥ (テスト形式_基礎編) 44 総合問題演習⑦ (テスト形式_基礎編) 45 総合問題演習⑦ (テスト形式_基礎編)	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	3級商業簿記基礎	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原則、簿記の基本原則を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	株式会社を前提とした一般的な企業取引に対する会計処理、企業取引に対する会計処理、報告書類の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 簿記の目的 2 簿記一巡 3 株式会社の資本 4 商品売買Ⅰ（商品売買、3分法、売掛金・買掛金） 5 商品売買Ⅱ（返品、分記法） 6 商品売買Ⅲ（仕入諸掛・販売諸掛、前受金・前払金、受取商品券） 7 決算①（繰越商品および仕入の決算整理） 8 決算②（決算整理後残高試算表） 9 決算③（精算表） 10 現金および預金Ⅰ（現金、普通預金、当座預金） 11 現金および預金Ⅱ（複数口座の管理、当座借越） 12 手形および電子記録債権・債務 13 確認テスト（第1回） 14 商業簿記総まとめ① 15 決算④（受取手形および売掛金の決算整理）	16 有形固定資産 17 決算⑤（有形固定資産の決算整理） 18 その他の債権および債務Ⅰ（未収入金・未払金） 19 その他の債権および債務Ⅱ（クレジット売掛金、手形貸付金・借入金） 20 その他の債権および債務Ⅲ（仮払金・仮受金、差入保証金） 21 その他の収益および費用 22 決算⑥（費用および収益の決算整理） 23 税金 24 決算⑦（その他の決算整理） 25 その他の勘定および訂正仕訳 26 損益計算書および貸借対照表Ⅰ 27 損益計算書および貸借対照表Ⅱ 28 確認テスト（第2回） 29 主要簿と補助簿 30 現金出納帳および当座預金出納帳
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	3級商業簿記基礎	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原則、簿記の基本原則を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	株式会社を前提とした一般的な企業取引に対する会計処理、企業取引に対する会計処理、報告書類の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	31 仕入帳・売上帳 32 商品有高帳 33 手形記入帳 34 試算表の作成 35 伝票会計① 36 伝票会計② 37 確認テスト(第3回) 38 商業簿記総まとめ② 39 商業簿記総まとめ③ 40 商業簿記総まとめ④ 41 商業簿記総まとめ⑤ 42 商業簿記総まとめ⑥ 43 商業簿記総まとめ⑦ 44 商業簿記総まとめ⑧ 45 商業簿記総まとめ⑨	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	3級簿記総合	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題演習を通じて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記3級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 商業簿記総まとめ① (基礎編) 2 商業簿記総まとめ② (基礎編) 3 商業簿記総まとめ③ (基礎編) 4 商業簿記総まとめ④ (基礎編) 5 商業簿記総まとめ⑤ (基礎編) 6 商業簿記総まとめ⑥ (基礎編) 7 商業簿記総まとめ⑦ (基礎編) 8 商業簿記総まとめ⑧ (基礎編) 9 商業簿記総まとめ⑨ (基礎編) 10 商業簿記総まとめ⑩ (基礎編) 11 商業簿記総まとめ⑪ (基礎編) 12 商業簿記総まとめ⑫ (基礎編) 13 商業簿記総まとめ⑬ (基礎編) 14 商業簿記総まとめ⑭ (基礎編) 15 商業簿記総まとめ⑮ (基礎編)	16 商業簿記総まとめ① (応用編) 17 商業簿記総まとめ② (応用編) 18 商業簿記総まとめ③ (応用編) 19 商業簿記総まとめ④ (応用編) 20 商業簿記総まとめ⑤ (応用編) 21 商業簿記総まとめ⑥ (応用編) 22 商業簿記総まとめ⑦ (応用編) 23 商業簿記総まとめ⑧ (応用編) 24 商業簿記総まとめ⑨ (応用編) 25 商業簿記総まとめ⑩ (応用編) 26 商業簿記総まとめ⑪ (応用編) 27 商業簿記総まとめ⑫ (応用編) 28 商業簿記総まとめ⑬ (応用編) 29 商業簿記総まとめ⑭ (応用編) 30 商業簿記総まとめ⑮ (応用編)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	3級簿記総合	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題演習を通じて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記3級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	31 総合問題対策① 32 総合問題対策② 33 総合問題対策③ 34 総合問題対策④ 35 総合問題対策⑤ 36 総合問題対策⑥ 37 総合問題対策⑦ 38 総合問題対策⑧ 39 総合問題対策⑨ 40 総合問題対策⑩ 41 総合問題対策⑪ 42 総合問題対策⑫ 43 総合問題対策⑬ 44 総合問題対策⑭ 45 総合問題対策⑮	46 総合問題演習① 47 総合問題演習② 48 総合問題演習③ 49 総合問題演習④ 50 総合問題演習⑤ 51 総合問題演習⑥ 52 総合問題演習⑦ 53 総合問題演習⑧ 54 総合問題演習⑨ 55 総合問題演習⑩ 56 総合問題演習⑪ 57 総合問題演習⑫ 58 総合問題演習⑬ 59 総合問題演習⑭ 60 総合問題演習⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	1級会計学入門 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	資産負債中心観を主体とした理論体系を学び現行基準との整合性、課題を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	現行基準の理論体系の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 財務諸表 (入門編) 2 有価証券 (入門編) 3 デリバティブ取引・ヘッジ会計 (入門編) 4 有形固定資産① (入門編) 5 有形固定資産② (入門編) 6 割引現在価値 (入門編) 7 リース取引① (入門編) 8 リース取引② (入門編) 9 研究開発費とソフトウェア (入門編) 10 固定資産の減損① (入門編) 11 固定資産の減損② (入門編) 12 繰延資産 (入門編) 13 社債 (入門編) 14 貸倒引当金 (入門編) 15 退職給付① (入門編)	16 退職給付② (入門編) 17 資産除去債務① (入門編) 18 資産除去債務② (入門編) 19 純資産① (入門編) 20 純資産② (入門編) 21 純資産③ (入門編) 22 新株予約権と新株予約権付社債 (入門編) 23 ストック・オプション① (入門編) 24 ストック・オプション② (入門編) 25 税効果会計① (入門編) 26 税効果会計② (入門編) 27 税効果会計③ (入門編) 28 外貨建取引① (入門編) 29 外貨建取引② (入門編) 30 外貨建取引③ (入門編)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	1級会計学入門 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	資産負債中心観を主体とした理論体系を学び現行基準との整合性、課題を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	現行基準の理論体系の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	31 商品売買等① (入門編) 32 商品売買等② (入門編) 33 商品売買等③ (入門編) 34 本支店会計① (入門編) 35 本支店会計② (入門編) 36 本支店会計③ (入門編) 37 連結財務諸表総論① (入門編) 38 連結財務諸表総論② (入門編) 39 資本連結① (入門編) 40 資本連結② (入門編) 41 資本連結③ (入門編) 42 資本連結④ (入門編) 43 成果連結① (入門編) 44 成果連結② (入門編) 45 成果連結③ (入門編)	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	1級原価計算入門 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基本的な内容を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工企業を前提とする会計処理の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 工業簿記と原価計算 (入門編) 2 費目別計算① (入門編) 3 費目別計算② (入門編) 4 部門別計算① (入門編) 5 部門別計算② (入門編) 6 部門別計算③ (入門編) 7 部門別計算④ (入門編) 8 部門別計算⑤ (入門編) 9 部門別計算⑥ (入門編) 10 個別原価計算① (入門編) 11 個別原価計算② (入門編) 12 個別原価計算③ (入門編) 13 総合原価計算④ (入門編) 14 総合原価計算⑤ (入門編) 15 総合原価計算⑥ (入門編)	16 総合原価計算⑦ (入門編) 17 総合原価計算⑧ (入門編) 18 標準原価計算① (入門編) 19 標準原価計算② (入門編) 20 標準原価計算③ (入門編) 21 標準原価計算④ (入門編) 22 標準原価計算⑤ (入門編) 23 直接原価計算 (入門編) 24 短期利益計画① (入門編) 25 短期利益計画② (入門編) 26 短期利益計画③ (入門編) 27 予算管理① (入門編) 28 予算管理② (入門編) 29 予算管理③ (入門編) 30 業務的意思決定① (入門編)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	1級原価計算入門 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基本的な内容を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工企業を前提とする会計処理の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	31 業務的意思決定② (入門編) 32 業務的意思決定③ (入門編) 33 業務的意思決定④ (入門編) 34 業務的意思決定⑤ (入門編) 35 業務的意思決定⑥ (入門編) 36 構造的意意思決定① (入門編) 37 構造的意意思決定② (入門編) 38 構造的意意思決定③ (入門編) 39 構造的意意思決定④ (入門編) 40 構造的意意思決定⑤ (入門編) 41 構造的意意思決定⑥ (入門編) 42 戦略的原価計算① (入門編) 43 戦略的原価計算② (入門編) 44 戦略的原価計算③ (入門編) 45 戦略的原価計算④ (入門編)	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅱ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	試算表、精算表、財務報告書など他の会計書類の関連性について体系的に学び、財務報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	商企業を前提とした、伝票会計、帳簿組織などの記帳技術を習得しつつ、報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 総論①(基礎編) 2 総論②(基礎編) 3 収益と費用(基礎編) 4 棚卸資産①(基礎編) 5 棚卸資産②(基礎編) 6 棚卸資産③(基礎編) 7 現金預金①(基礎編) 8 現金預金②(基礎編) 9 債権・債務等(基礎編) 10 有価証券①(基礎編) 11 有価証券②(基礎編) 12 有価証券③(基礎編) 13 有価証券④(基礎編) 14 有価証券⑤(基礎編) 15 有価証券⑥(基礎編)	16 固定資産①(基礎編) 17 固定資産②(基礎編) 18 固定資産③(基礎編) 19 固定資産④(基礎編) 20 固定資産⑤(基礎編) 21 固定資産⑥(基礎編) 22 為替換算会計①(基礎編) 23 為替換算会計②(基礎編) 24 為替換算会計③(基礎編) 25 引当金①(基礎編) 26 引当金②(基礎編) 27 引当金③(基礎編) 28 法人税等①(基礎編) 29 法人税等②(基礎編) 30 法人税等③(基礎編)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅱ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	試算表、精算表、財務報告書など他の会計書類の関連性について体系的に学び、財務報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	商企業を前提とした、伝票会計、帳簿組織などの記帳技術を習得しつつ、報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	31 株式会社の純資産①（基礎編） 32 株式会社の純資産②（基礎編） 33 株式会社の純資産③（基礎編） 34 企業結合（基礎編） 35 株主資本等変動計算書①（基礎編） 36 株主資本等変動計算書②（基礎編） 37 連結会計①（基礎編） 38 連結会計②（基礎編） 39 連結会計③（基礎編） 40 連結会計④（基礎編） 41 連結会計⑤（基礎編） 42 連結会計⑥（基礎編） 43 連結会計⑦（基礎編） 44 連結会計⑧（基礎編） 45 連結会計⑨（基礎編）	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅱ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 工業簿記の基礎 2 工業簿記の記帳体系（個別原価計算） 3 材料費会計① 4 材料費会計② 5 労務費会計① 6 労務費会計② 7 経費会計 8 製造間接費会計① 9 製造間接費会計② 10 単純個別原価計算① 11 単純個別原価計算② 12 単純個別原価計算③ 13 部門別計算① 14 部門別計算② 15 部門別計算③	16 確認テスト（第1回） 17 工企業の財務諸表① 18 工企業の財務諸表② 19 工業簿記の記帳体系（総合原価計算） 20 総合原価計算① 21 総合原価計算② 22 総合原価計算③ 23 総合原価計算④ 24 総合原価計算⑤ 25 総合原価計算⑥ 26 工程別総合原価計算① 27 工程別総合原価計算② 28 組別総合原価計算 29 等級別総合原価計算① 30 等級別総合原価計算②
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅱ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	31 標準原価計算① 32 標準原価計算② 33 標準原価計算③ 34 原価・営業量・利益関係の分析① 35 原価・営業量・利益関係の分析② 36 工場会計の独立 37 直接原価計算① 38 直接原価計算② 39 確認テスト (第2回) 40 工業簿記総まとめ① 41 工業簿記総まとめ② 42 工業簿記総まとめ③ 43 工業簿記総まとめ④ 44 工業簿記総まとめ⑤ 45 工業簿記総まとめ⑥	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ITパスポート基礎	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	情報技術の基礎となる考え方・仕組み・専門用語を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	社会人として必要な情報リテラシの基礎を身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 企業活動① 2 企業活動② 3 法務① 4 法務② 5 経営戦略マネジメント① 6 経営戦略マネジメント② 7 技術戦略マネジメント① 8 技術戦略マネジメント② 9 ビジネスインダストリ① 10 ビジネスインダストリ② 11 システム戦略① 12 システム戦略② 13 システム企画① 14 システム企画② 15 システム開発技術①	16 システム開発技術② 17 ソフトウェア開発管理技術① 18 ソフトウェア開発管理技術② 19 プロジェクトマネジメント① 20 サービスマネジメント① 21 サービスマネジメント② 22 システム監査① 23 システム監査② 24 基礎理論① 25 基礎理論② 26 アルゴリズムとプログラミング① 27 アルゴリズムとプログラミング② 28 コンピュータ構成要素① 29 コンピュータ構成要素② 30 システム構成要素①
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ITパスポート基礎	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	情報技術の基礎となる考え方・仕組み・専門用語を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	社会人として必要な情報リテラシの基礎を身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	31 ソフトウェア① 32 ソフトウェア② 33 ハードウェア① 34 ヒューマンインターフェース① 35 マルチメディア① 36 データベース① 37 データベース② 38 データベース③ 39 ネットワーク① 40 ネットワーク② 41 ネットワーク③ 42 セキュリティ① 43 セキュリティ② 44 セキュリティ③ 45 セキュリティ④	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ITパスポート応用	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	情報技術の考え方・仕組み・専門用語を問題演習を通じて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	ITパスポートレベルの情報技術知識の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 ITパスポート総まとめ① 2 ITパスポート総まとめ② 3 ITパスポート総まとめ③ 4 ITパスポート総まとめ④ 5 ITパスポート総まとめ⑤ 6 ITパスポート総合問題対策① 7 ITパスポート総合問題対策② 8 ITパスポート総合問題対策③ 9 ITパスポート総合問題対策④ 10 ITパスポート総合問題対策⑤ 11 ITパスポート総合問題対策⑥ 12 ITパスポート総合問題対策⑦ 13 ITパスポート総合問題対策⑧ 14 ITパスポート総合問題対策⑨ 15 ITパスポート総合問題対策⑩	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ITリテラシ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	ネットワーク、セキュリティの知識とコンピュータの基本操作を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	社会人として必要な情報リテラシの基礎を身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 コンピュータシステムの構成① 2 コンピュータシステムの構成② 3 コンピュータシステムの構成③ 4 ネットワークテクノロジー① 5 ネットワークテクノロジー② 6 ネットワークテクノロジー③ 7 ネットワークの構築と運用① 8 ネットワークの構築と運用② 9 ネットワークの構築と運用③ 10 ネットワークの構築と運用④ 11 情報セキュリティ① 12 情報セキュリティ② 13 情報セキュリティ③ 14 情報セキュリティ④ 15 情報セキュリティ⑤	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	Power Point基礎	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 プレゼンテーションの作成① 2 プレゼンテーションの作成② 3 スライドの挿入、書式設定① 4 スライドの挿入、書式設定② 5 配布資料、ノートの変更① 6 配布資料、ノートの変更② 7 配布資料、ノートの変更③ 8 スライドの並べ替え、グループ化① 9 スライドの並べ替え、グループ化② 10 スライドの並べ替え、グループ化③ 11 オプションの変更① 12 オプションの変更② 13 オプションの変更③ 14 スライドショーの設定、実行① 15 スライドショーの設定、実行②	16 スライドショーの設定、実行③ 17 テキストの挿入、書式設定① 18 テキストの挿入、書式設定② 19 テキストの挿入、書式設定③ 20 図形・テキストボックスの挿入・書式設定① 21 図形・テキストボックスの挿入・書式設定② 22 図形・テキストボックスの挿入・書式設定③ 23 図の挿入、書式設定① 24 図の挿入、書式設定② 25 図の挿入、書式設定③ 26 図の挿入、書式設定④ 27 図形の並び替え、グループ化① 28 図形の並び替え、グループ化② 29 図形の並び替え、グループ化③ 30 図形の並び替え、グループ化④
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	Power Point応用
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習及び講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS PowerPointレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 表の挿入、設定 2 グラフの挿入、書式設定① 3 グラフの挿入、書式設定② 4 SmartArtの挿入、書式設定① 5 SmartArtの挿入、書式設定② 6 メディアの挿入、管理① 7 メディアの挿入、管理② 8 画面切り替えの設定① 9 画面切り替えの設定② 10 アニメーションの設定① 11 アニメーションの設定② 12 複数のコンテンツの結合① 13 複数のコンテンツの結合② 14 プレゼンテーションの保護、共有① 15 プレゼンテーションの保護、共有②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	Word基礎	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 文章の作成① 2 文章の作成② 3 文章内の移動① 4 文章内の移動② 5 文章の書式設定① 6 文章の書式設定② 7 文章の書式設定③ 8 文章の書式設定④ 9 オプションの設定、表示のカスタマイズ① 10 オプションの設定、表示のカスタマイズ② 11 オプションの設定、表示のカスタマイズ③ 12 文章の印刷、保存① 13 文章の印刷、保存② 14 文章の印刷、保存③ 15 スライドショーの設定、実行②	16 文章の印刷、保存④ 17 文字列・段落の挿入① 18 文字列・段落の挿入② 19 文字列・段落の挿入③ 20 文字列・段落の挿入④ 21 文字列・段落の書式設定① 22 文字列・段落の書式設定② 23 文字列・段落の書式設定③ 24 文字列・段落の書式設定④ 25 文字列・段落の書式設定⑤ 26 文字列・段落の並び替え、グループ化① 27 文字列・段落の並び替え、グループ化② 28 文字列・段落の並び替え、グループ化③ 29 文字列・段落の並び替え、グループ化④ 30 文字列・段落の並び替え、グループ化⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	1級会計学基礎 I
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計の基礎について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会計知識の習得および計算技術を身に付けることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 持分法①(基礎編) 2 持分法②(基礎編) 3 連結税効果①(基礎編) 4 連結税効果②(基礎編) 5 包括利益(基礎編) 6 在外子会社(基礎編) 7 企業結合①(基礎編) 8 企業結合②(基礎編) 9 事業分離①(基礎編) 10 事業分離②(基礎編) 11 キャッシュフロー計算書①(基礎編) 12 キャッシュフロー計算書②(基礎編) 13 連結キャッシュフロー計算書①(基礎編) 14 連結キャッシュフロー計算書②(基礎編) 15 会計上の変更及び誤謬の訂正(基礎編)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	1級原価計算基礎 I
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	最新の原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 個別原価計算（基礎編） 2 部門別計算（基礎編） 3 総合原価計算（基礎編） 4 標準原価計算（基礎編） 5 直接原価計算（基礎編） 6 短期利益計画（基礎編） 7 予算管理（基礎編） 8 事業部制（基礎編） 9 業務的意思決定①（基礎編） 10 業務的意思決定②（基礎編） 11 構造的意意思決定①（基礎編） 12 構造的意意思決定②（基礎編） 13 構造的意意思決定③（基礎編） 14 戦略的原価計算①（基礎編） 15 戦略的原価計算②（基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	1級会計学総合 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記1級検定合格程度の会計知識および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 商業簿記・会計学総まとめ① 2 商業簿記・会計学総まとめ② 3 商業簿記・会計学総まとめ③ 4 商業簿記・会計学総まとめ④ 5 商業簿記・会計学総まとめ⑤ 6 商業簿記・会計学総まとめ⑥ 7 商業簿記・会計学総まとめ⑦ 8 商業簿記・会計学総まとめ⑧ 9 商業簿記・会計学総まとめ⑨ 10 商業簿記・会計学総まとめ⑩ 11 商業簿記・会計学総まとめ⑪ 12 商業簿記・会計学総まとめ⑫ 13 商業簿記・会計学総まとめ⑬ 14 商業簿記・会計学総まとめ⑭ 15 商業簿記・会計学総まとめ⑮	16 商業簿記・会計学総まとめ⑯ 17 商業簿記・会計学総まとめ⑰ 18 商業簿記・会計学総まとめ⑱ 19 商業簿記・会計学総まとめ⑲ 20 商業簿記・会計学総まとめ⑳ 21 商業簿記・会計学総まとめ㉑ 22 商業簿記・会計学総まとめ㉒ 23 商業簿記・会計学総まとめ㉓ 24 商業簿記・会計学総まとめ㉔ 25 商業簿記・会計学総まとめ㉕ 26 総合問題対策① (テスト形式の問題解説) 27 総合問題対策② (テスト形式の問題解説) 28 総合問題対策③ (テスト形式の問題解説) 29 総合問題対策④ (テスト形式の問題解説) 30 総合問題対策⑤ (テスト形式の問題解説)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	1級会計学総合 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記1級検定合格程度の会計知識および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	31 総合問題対策⑥ (テスト形式の問題解説) 32 総合問題対策⑦ (テスト形式の問題解説) 33 総合問題対策⑧ (テスト形式の問題解説) 34 総合問題対策⑨ (テスト形式の問題解説) 35 総合問題対策⑩ (テスト形式の問題解説) 36 総合問題対策⑪ (テスト形式の問題解説) 37 総合問題対策⑫ (テスト形式の問題解説) 38 総合問題対策⑬ (テスト形式の問題解説) 39 総合問題対策⑭ (テスト形式の問題解説) 40 総合問題対策⑮ (テスト形式の問題解説) 41 総合問題対策⑯ (テスト形式の問題解説) 42 総合問題対策⑰ (テスト形式の問題解説) 43 総合問題対策⑱ (テスト形式の問題解説) 44 総合問題対策⑲ (テスト形式の問題解説) 45 総合問題対策⑳ (テスト形式の問題解説)	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	1級原価計算総合 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	原価計算基準の理論体系、多様化する製造過程に対する会計処理、経営戦略について、より詳細に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記1級検定合格程度の原価計算知識および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 工業簿記・原価計算総まとめ① 2 工業簿記・原価計算総まとめ② 3 工業簿記・原価計算総まとめ③ 4 工業簿記・原価計算総まとめ④ 5 工業簿記・原価計算総まとめ⑤ 6 工業簿記・原価計算総まとめ⑥ 7 工業簿記・原価計算総まとめ⑦ 8 工業簿記・原価計算総まとめ⑧ 9 工業簿記・原価計算総まとめ⑨ 10 工業簿記・原価計算総まとめ⑩ 11 工業簿記・原価計算総まとめ⑪ 12 工業簿記・原価計算総まとめ⑫ 13 工業簿記・原価計算総まとめ⑬ 14 工業簿記・原価計算総まとめ⑭ 15 工業簿記・原価計算総まとめ⑮	16 工業簿記・原価計算総まとめ⑯ 17 工業簿記・原価計算総まとめ⑰ 18 工業簿記・原価計算総まとめ⑱ 19 工業簿記・原価計算総まとめ⑲ 20 工業簿記・原価計算総まとめ⑳ 21 工業簿記・原価計算総まとめ㉑ 22 工業簿記・原価計算総まとめ㉒ 23 工業簿記・原価計算総まとめ㉓ 24 工業簿記・原価計算総まとめ㉔ 25 工業簿記・原価計算総まとめ㉕ 26 総合問題対策① (テスト形式の問題解説) 27 総合問題対策② (テスト形式の問題解説) 28 総合問題対策③ (テスト形式の問題解説) 29 総合問題対策④ (テスト形式の問題解説) 30 総合問題対策⑤ (テスト形式の問題解説)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	1級原価計算総合 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	原価計算基準の理論体系、多様化する製造過程に対する会計処理、経営戦略について、より詳細に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記1級検定合格程度の原価計算知識および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	31 総合問題対策⑥ (テスト形式の問題解説) 32 総合問題対策⑦ (テスト形式の問題解説) 33 総合問題対策⑧ (テスト形式の問題解説) 34 総合問題対策⑨ (テスト形式の問題解説) 35 総合問題対策⑩ (テスト形式の問題解説) 36 総合問題対策⑪ (テスト形式の問題解説) 37 総合問題対策⑫ (テスト形式の問題解説) 38 総合問題対策⑬ (テスト形式の問題解説) 39 総合問題対策⑭ (テスト形式の問題解説) 40 総合問題対策⑮ (テスト形式の問題解説) 41 総合問題対策⑯ (テスト形式の問題解説) 42 総合問題対策⑰ (テスト形式の問題解説) 43 総合問題対策⑱ (テスト形式の問題解説) 44 総合問題対策⑲ (テスト形式の問題解説) 45 総合問題対策⑳ (テスト形式の問題解説)	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	2級商業簿記応用 I
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	商企業の会計処理に関する全体の関連性について体系的に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	日々の取引、決算整理に関する一連の流れおよび財務諸表の作成について、上場企業レベルの資料を作成することができることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 本支店会計① (応用編) 2 本支店会計② (応用編) 3 本支店会計③ (応用編) 4 製造業を営む会社の決算処理① (応用編) 5 製造業を営む会社の決算処理② (応用編) 6 製造業を営む会社の決算処理③ (応用編) 7 伝票① (応用編) 8 伝票② (応用編) 9 伝票③ (応用編) 10 商業簿記総まとめ① 11 商業簿記総まとめ② 12 商業簿記総まとめ③ 13 商業簿記総まとめ④ 14 商業簿記総まとめ⑤ 15 商業簿記総まとめ⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	2級工業簿記応用 I
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 費目別計算① (応用編) 2 費目別計算② (応用編) 3 単純個別原価計算① (応用編) 4 単純個別原価計算② (応用編) 5 部門別計算① (応用編) 6 部門別計算② (応用編) 7 工企業の財務諸表 (応用編) 8 単純総合原価計算① (応用編) 9 単純総合原価計算② (応用編) 10 工程別総合原価計算 (応用編) 11 組別総合原価計算、等級別総合原価計算 (応用編) 12 標準原価計算① (応用編) 13 標準原価計算② (応用編) 14 原価・営業量・利益関係の分析 (応用編) 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	2級簿記総合Ⅱ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学習し、総合問題の基礎も学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記2級の基礎的な会計知識と計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 商業簿記総まとめ①(中級編) 2 商業簿記総まとめ②(中級編) 3 商業簿記総まとめ③(中級編) 4 商業簿記総まとめ④(中級編) 5 商業簿記総まとめ⑤(中級編) 6 商業簿記総まとめ⑥(中級編) 7 商業簿記総まとめ⑦(中級編) 8 商業簿記総まとめ⑧(中級編) 9 商業簿記総まとめ⑨(中級編) 10 商業簿記総まとめ⑩(中級編) 11 商業簿記総まとめ⑪(中級編) 12 商業簿記総まとめ⑫(中級編) 13 工業簿記・原価計算総まとめ①(中級編) 14 工業簿記・原価計算総まとめ②(中級編) 15 工業簿記・原価計算総まとめ③(中級編)	16 工業簿記・原価計算総まとめ④(中級編) 17 工業簿記・原価計算総まとめ⑤(中級編) 18 工業簿記・原価計算総まとめ⑥(中級編) 19 総合問題対策①(商業簿記と工業簿記_中級編) 20 総合問題対策②(商業簿記と工業簿記_中級編) 21 総合問題対策③(商業簿記と工業簿記_中級編) 22 総合問題対策④(商業簿記と工業簿記_中級編) 23 総合問題対策⑤(商業簿記と工業簿記_中級編) 24 総合問題対策⑥(商業簿記と工業簿記_中級編) 25 総合問題対策⑦(商業簿記と工業簿記_中級編) 26 総合問題対策⑧(商業簿記と工業簿記_中級編) 27 総合問題対策⑨(商業簿記と工業簿記_中級編) 28 総合問題演習①(テスト形式_中級編) 29 総合問題演習①(テスト形式_中級編) 30 総合問題演習①(テスト形式_中級編)
成績評価方法(試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	2級簿記総合Ⅱ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学習し、総合問題の基礎も学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記2級の基礎的な会計知識と計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	31 総合問題演習② (テスト形式_中級編) 32 総合問題演習② (テスト形式_中級編) 33 総合問題演習② (テスト形式_中級編) 34 総合問題演習③ (テスト形式_中級編) 35 総合問題演習③ (テスト形式_中級編) 36 総合問題演習③ (テスト形式_中級編) 37 総合問題演習④ (テスト形式_中級編) 38 総合問題演習④ (テスト形式_中級編) 39 総合問題演習④ (テスト形式_中級編) 40 総合問題演習⑤ (テスト形式_中級編) 41 総合問題演習⑤ (テスト形式_中級編) 42 総合問題演習⑥ (テスト形式_中級編) 43 総合問題演習⑥ (テスト形式_中級編) 44 総合問題演習⑦ (テスト形式_中級編) 45 総合問題演習⑦ (テスト形式_中級編)	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	2級簿記総合Ⅲ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	株式会社の会計処理を問題演習、総合問題の演習を通じて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記2級の応用的な会計知識と計算技術の習得を目的とし、かつ、有価証券報告書を読み取ることができることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 商業簿記総まとめ① (応用編) 2 商業簿記総まとめ② (応用編) 3 商業簿記総まとめ③ (応用編) 4 商業簿記総まとめ④ (応用編) 5 商業簿記総まとめ⑤ (応用編) 6 商業簿記総まとめ⑥ (応用編) 7 商業簿記総まとめ⑦ (応用編) 8 商業簿記総まとめ⑧ (応用編) 9 商業簿記総まとめ⑨ (応用編) 10 商業簿記総まとめ⑩ (応用編) 11 商業簿記総まとめ⑪ (応用編) 12 商業簿記総まとめ⑫ (応用編) 13 商業簿記総まとめ⑬ (応用編) 14 商業簿記総まとめ⑭ (応用編) 15 商業簿記総まとめ⑮ (応用編)	16 工業簿記総まとめ① (応用編) 17 工業簿記総まとめ② (応用編) 18 工業簿記総まとめ③ (応用編) 19 工業簿記総まとめ④ (応用編) 20 工業簿記総まとめ⑤ (応用編) 21 工業簿記総まとめ⑥ (応用編) 22 工業簿記総まとめ⑦ (応用編) 23 工業簿記総まとめ⑧ (応用編) 24 工業簿記総まとめ⑨ (応用編) 25 工業簿記総まとめ⑩ (応用編) 26 工業簿記総まとめ⑪ (応用編) 27 工業簿記総まとめ⑫ (応用編) 28 総合問題演習① (テスト形式_応用編) 29 総合問題演習① (テスト形式_応用編) 30 総合問題演習① (テスト形式_応用編)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	2級簿記総合Ⅲ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	株式会社の会計処理を問題演習、総合問題の演習を通じて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記2級の応用的な会計知識と計算技術の習得を目的とし、かつ、有価証券報告書を読み取ることができることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	31 総合問題演習② (テスト形式_応用編) 32 総合問題演習② (テスト形式_応用編) 33 総合問題演習② (テスト形式_応用編) 34 総合問題演習③ (テスト形式_応用編) 35 総合問題演習③ (テスト形式_応用編) 36 総合問題演習③ (テスト形式_応用編) 37 総合問題演習④ (テスト形式_応用編) 38 総合問題演習④ (テスト形式_応用編) 39 総合問題演習④ (テスト形式_応用編) 40 総合問題演習⑤ (テスト形式_応用編) 41 総合問題演習⑤ (テスト形式_応用編) 42 総合問題演習⑤ (テスト形式_応用編) 43 総合問題演習⑥ (テスト形式_応用編) 44 総合問題演習⑥ (テスト形式_応用編) 45 総合問題演習⑥ (テスト形式_応用編)	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	事務キャリアデザイン I
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	事務職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	事務職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 事務職に適したスーツの着こなし 2 事務職に適した身だしなみ 3 敬語の使い方 4 事務職で良く聞かれる質疑応答① 5 事務職で良く聞かれる質疑応答② 6 筆記試験とは（一般常識試験）① 7 筆記試験とは（一般常識試験）② 8 筆記試験とは（適性検査試験）① 9 筆記試験とは（適性検査試験）② 10 作文の目的・形式と内容① 11 作文の目的・形式と内容② 12 作文の実践テクニック① 13 作文の実践テクニック② 14 作文の実践テクニック③ 15 作文の実践テクニック④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	事務キャリアデザインII
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	事務職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	事務職内定へ向けた志望理由を作れるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 仕事選びの基準 2 求人票からの情報収集 3 会社四季報、新聞からの情報収集① 4 会社四季報、新聞からの情報収集② 5 総合職と一般職 6 事務職職種研究① 7 事務職職種研究② 8 事務職職種研究③ 9 事務職職種研究④ 10 事務職職種研究⑤ 11 事務職への志望理由① 12 事務職への志望理由② 13 事務職への志望理由③ 14 事務職への志望理由④ 15 事務職への志望理由⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	Excel応用	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	MOS Excelエキスパートレベルの知識・操作に関する総合的な学習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	MOS Excelエキスパートレベルの操作を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 ブックの管理 2 ブックの校閲管理 3 ユーザー定義の表示形式と入刀規則の適用 4 詳細な条件付き書式やフィルターの適用 5 ユーザー設定のブックの要素を作成、変更 6 ほかの言語に対応したブックの準備 7 関数の適用 8 関数をしようしたデータ検索 9 高度な日付と時刻の関数 10 データ分析、ビジネス分析 11 数式のトラブルシューティング 12 名前付き範囲とオブジェクトの定義 13 高度な機能を使用したグラフの作成 14 ピボットテーブルの作成、管理 15 ピボットグラフの作成、管理	16 総合問題対策① 17 総合問題対策② 18 総合問題対策③ 19 総合問題対策④ 20 総合問題対策⑤ 21 総合問題対策⑥ 22 総合問題対策⑦ 23 総合問題対策⑧ 24 総合問題対策⑨ 25 総合問題対策⑩ 26 総合問題対策⑪ 27 総合問題対策⑫ 28 総合問題対策⑬ 29 総合問題対策⑭ 30 総合問題対策⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	色彩基礎 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義・演習	
授業時間	60 時間	
授業コマ数	30 コマ	
授業概要	色に関する幅広い知識の学習と技能の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	色彩に関する基本的な事柄を理解する	
教科書	テキスト及び問題集	
特記		
授業計画	1 色のはたらき 2 ファッションとは 3 インテリアと色彩 4 色彩と生活 5 色の表示① 6 色の表示② 7 光と色 8 色彩心理 9 色彩調和① 10 色彩調和② 11 ファッションとは色彩 12 インテリアのカフェコーディネート ション 13 色彩と構成 14 問題演習 1 15 問題演習 2	16 問題演習 3 17 問題演習 4 18 問題演習 5 19 問題演習 6 20 問題演習 7 21 問題演習 8 22 問題演習 9 23 問題演習 10 24 問題演習 11 25 問題演習 12 26 検定対策 27 検定対策 28 検定対策 29 検定対策 30 検定対策
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	販売知識基礎	
実務家教員授業	○	
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記	流通業界にて接客・販売業務に実務を経験したものが、実例を交えながら講義を実施	
授業計画	1 販売員の役割① 2 販売員の役割② 3 販売員の役割③ 4 販売員の法廷知識① 5 販売員の法廷知識② 6 販売員の法廷知識③ 7 小売業の計数管理① 8 小売業の計数管理② 9 小売業の計数管理③ 10 店舗管理① 11 店舗管理② 12 店舗管理③ 13 店舗管理④ 14 店舗管理⑤ 15 店舗管理⑥	16 流通における小売業① 17 流通における小売業② 18 流通における小売業③ 19 流通における小売業④ 20 流通における小売業⑤ 21 流通における小売業⑥ 22 組織形態別小売業① 23 組織形態別小売業② 24 組織形態別小売業③ 25 店舗形態別小売業① 26 店舗形態別小売業② 27 店舗形態別小売業③ 28 商業集積① 29 商業集積② 30 商業集積③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	販売知識基礎	
実務家教員授業	○	
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記	流通業界にて接客・販売業務に実務を経験したものが、実例を交えながら講義を実施	
授業計画	31 商業集積④ 32 商業集積⑤ 33 商業集積⑥ 34 小売業のマーケティング① 35 小売業のマーケティング② 36 小売業のマーケティング③ 37 小売業のマーケティング④ 38 小売業のマーケティング⑤ 39 小売業のマーケティング⑥ 40 顧客満足経営① 41 顧客満足経営② 42 顧客満足経営③ 43 顧客満足経営④ 44 顧客満足経営⑤ 45 顧客満足経営⑥	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	販売知識応用	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	リテールマーケティング検定3級レベルの知識を理解し身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 証券の設定と出店① 2 証券の設定と出店② 3 証券の設定と出店③ 4 リージョナルプロモーション① 5 リージョナルプロモーション② 6 リージョナルプロモーション③ 7 顧客志向型売り場づくり① 8 顧客志向型売り場づくり② 9 顧客志向型売り場づくり③ 10 ストアオペレーション① 11 ストアオペレーション② 12 ストアオペレーション③ 13 ストアオペレーション④ 14 ストアオペレーション⑤ 15 ストアオペレーション⑥	16 梱包技術① 17 梱包技術② 18 梱包技術③ 19 ディスプレイ① 20 ディスプレイ② 21 ディスプレイ③ 22 商品① 23 商品② 24 商品③ 25 マーチャンダイジング① 26 マーチャンダイジング② 27 マーチャンダイジング③ 28 マーチャンダイジング④ 29 マーチャンダイジング⑤ 30 マーチャンダイジング⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	販売知識応用	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	リテールマーケティング検定3級レベルの知識を理解し身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	31 商品計画① 32 商品計画② 33 商品計画③ 34 販売計画及び仕入れ計画① 35 販売計画及び仕入れ計画② 36 販売計画及び仕入れ計画③ 37 価格設定① 38 価格設定② 39 価格設定③ 40 在庫管理① 41 在庫管理② 42 在庫管理③ 43 販売管理① 44 販売管理② 45 販売管理③	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネス実務入門
実務家教員授業	○
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	働くうえで備えておくべき基本的な心構えや一般知識を理解する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	基本的な職場常識・職務の知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	担当教員は役員秘書、社員マナー研修担当の経験を活かし、社会人マナーとは何かを企業側からの視点で講義する。
授業計画	1 職場での心構え① 2 職場の心構え② 3 職場に必要な能力① 4 職場に必要な能力② 5 職場の役割と機能① 6 職場の役割と機能② 7 秘書の職務① 8 秘書の職務② 9 企業の基礎知識① 10 企業の基礎知識② 11 企業組織の活動① 12 企業組織の活動② 13 社会常識① 14 社会常識② 15 社会常識③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス実務応用	
実務家教員授業	○	
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	職場でのマナー・技能を理解する	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	職場での電話応対・来客対応、ビジネス文書作成の知識を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記	担当教員は役員秘書、社員マナー研修担当の経験を活かし、社会人マナーとは何かを企業側からの視点で講義する。	
授業計画	1 人間関係と話し方・聞き方① 2 人間関係と話し方・聞き方② 3 人間関係と話し方・聞き方③ 4 人間関係と話し方・聞き方④ 5 敬語と接遇用語① 6 敬語と接遇用語② 7 敬語と接遇用語③ 8 敬語と接遇用語④ 9 電話応対① 10 電話応対② 11 電話応対③ 12 電話応対④ 13 来客応対① 14 来客応対② 15 来客応対③	16 交際業務① 17 交際業務② 18 ビジネス文書の作成① 19 ビジネス文書の作成② 20 ビジネス文書の作成③ 21 ビジネス文書の作成④ 22 文書・資料管理① 23 文書・資料管理② 24 文書・資料管理③ 25 日程管理① 26 日程管理② 27 日程管理③ 28 日程管理④ 29 環境整備① 30 環境整備②
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	秘書検定総合
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習及び講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	秘書としての考え方、職務知識、マナー・接遇について体系的に学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	秘書検定に合格できるレベルの理論・実技の知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会人に必要な自覚と心構え、秘書に求められる人柄 2 秘書に求められる能力 3 秘書の役割・機能、職務内容 4 一般知識 5 報告・説明の仕方 6 敬語の用法 7 電話対応① 8 電話対応② 9 来客対応① 10 来客対応② 11 社内文章・社外文章① 12 社内文章・社外文章② 13 メール・郵便・書類整理の知識① 14 メール・郵便・書類整理の知識② 15 出張の注意点・オフィスの環境作り
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	流通キャリアデザイン I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	事前研修、インターン実習、事後研修による実務経験	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	販売・接客・企画職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	小売業とはなにか
	2	販売形態の種類と特徴
	3	ビジネスマナー
	4	ストアオペレーションの重要性
	5	挨拶
	6	笑顔・お辞儀
	7	敬語
	8	店舗形態別小売業の基本知識
	9	組織小売業の種類と特徴
	10	接客販売のプロとして
	11	ディスプレイ
	12	ロールプレイング
	13	業界研究
	14	職種研究
	15	商品研究
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 実習への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅡ
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	事前研修、インターン実習、事後研修による実務経験
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	各企業よるインターン実習における高評価
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 各企業での実習 2 企業実習Ⅰ(笑顔・挨拶) 3 企業実習Ⅱ(店舗形態別小売業の基本知識) 4 企業実習Ⅱ(店舗形態別小売業の基本知識) 5 企業実習Ⅲ(組織小売業の種類と特徴) 6 企業実習Ⅲ(組織小売業の種類と特徴) 7 企業実習Ⅳ(ディスプレイ) 8 企業実習Ⅳ(ディスプレイ) 9 企業実習Ⅵ(実習企業での活動) 10 企業実習Ⅵ(実習企業での活動) 11 企業実習Ⅵ(実習企業での活動) 12 企業実習Ⅵ(実習企業での活動) 13 企業実習Ⅵ(実習企業での活動) 14 企業実習Ⅵ(実習企業での活動) 15 企業実習Ⅶ(実習振り返り)
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ダイビング実習	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	事前講習、現場実技によるスクーバダイビングの習得	
授業の進め方	実習とテキストを用いて実践的な知識を学ぶ	
達成目標	NAUIスクーバダイバー認定	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 ガイダンス・オリエンテーション 2 ダイビングの基礎知識・器材 3 物理Ⅰ（大気圧・水圧） 4 物理Ⅱ（圧力と体積） 5 物理Ⅲ（水中での空気の消費） 6 水中での身体Ⅰ（傷害） 7 水中での身体Ⅱ（対処法） 8 環境Ⅰ（水の性質） 9 環境Ⅱ（水中の生物） 10 自然保護 11 潜水時間の計画Ⅰ（ダイブテーブルの用語と使い方） 12 潜水時間の計画Ⅱ（反復潜水の計画） 13 ダイブ・コンピュータ 14 器材の使い方Ⅰ（スクーバシステムの組み立て・取り外し） 15 器材の使い方Ⅱ（浮力コントロール）	16 ダイビングの安全Ⅰ（ダイビングの計画） 17 ダイビングの安全Ⅱ（ダイビングのトラブル） 18 海洋実習Ⅰ（器材の確認） 19 海洋実習Ⅱ（スクーバシステムの組み立て・取り外し） 20 海洋実習Ⅲ（器材の使い方） 21 海洋実習Ⅳ（浮力コントロール） 22 海洋実習Ⅴ（マスククリア） 23 海洋実習Ⅵ（圧平衡） 24 海洋実習Ⅶ（潜降） 25 海洋実習Ⅷ（浮上） 26 海洋実習Ⅸ（器材の脱着） 27 海洋実習Ⅹ（水中でのコミュニケーション） 28 海洋実習Ⅺ（トラブル時の対応） 29 海洋実習Ⅻ（ダイビングの記録） 30 ダイビング実習まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	インターンシップ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	事前研修、インターン実習、事後研修による実務経験	
授業の進め方	実習にて実践的な知識を学ぶ	
達成目標	各企業よるインターン実習における高評価	
教科書	特に使用はしない	
特記		
授業計画	1 初日ガイダンス 2 インターン実習1 業界の基礎知識学習 3 インターン実習2 スポーツ業界におけるビジネスマナー 4 インターン実習3 ストアオペレーション基礎知識 5 インターン実習4 デイスプレイ基礎知識 6 インターン実習5 健康についての専門知識と実践技能の取得 7 インターン実習6 健康支援についての専門知識と実践技能の取得 8 インターン実習7 スポーツ業界をヒト・モノ・カネ・情報という運営資源の側面からマネジメント 9 インターン実習8 接客業or小売業の専門知識について 10 インターン実習9 接客販売の心得 11 インターン実習10 状況別の店内接客 12 インターン実習11 敬語・クッション言葉・状況に応じた対応 13 インターン実習12 報告・連絡・相談について 14 インターン実習13 日誌 作成方法と振り返り方法 15 インターン実習14 スポーツイベントの現状歴史について	16 インターン実習15 スポーツ業界経済効果について 17 インターン実習16 パートナiership、スポンサー、PRについて 18 インターン実習17 企画立案・プレゼンテーション I 19 インターン実習18 企画立案・プレゼンテーション II 20 インターン実習19 企画立案・プレゼンテーション III 21 インターン実習20 ストアオペレーション応用知識 I 22 インターン実習21 ストアオペレーション応用知識 II 23 インターン実習22 デイスプレイ応用知識 I 24 インターン実習23 デイスプレイ応用知識 II 25 インターン実習24 地域マーケティング I 26 インターン実習25 地域マーケティング II 27 インターン実習26 地域マーケティング III 28 インターン実習27 エリアマーケティング I 29 インターン実習28 エリアマーケティング II 30 インターン実習29 エリアマーケティング III
成績評価方法(試験実施方法)	平常点100% 実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	キャンプ実習
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	事前講習、現場実技によるキャンプスキルの習得
授業の進め方	実習とテキストを用いて実践的な知識を学ぶ
達成目標	キャンプ実習インストラクター認定
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 キャンプの特性Ⅰ（キャンプの意義と目的） 2 キャンプの特性Ⅱ（キャンプの組織と種類、キャンプのルールとマナー） 3 キャンプの対象（人間と自然の関係） 4 キャンプの指導（コミュニケーションスキル） 5 キャンプの安全（キャンプにおける安全の考え方） 6 キャンプの基本装備（個人装備、団体装備） 7 キャンプの生活技術Ⅰ（テントの設営、アウトドアクッキング、キャンプ道具） 8 キャンプの生活技術Ⅱ（ロープワーク、キャンプと天気） 9 さまざまなアクティビティⅠ（冒険プログラム） 10 さまざまなアクティビティⅡ（オリエンテーリング活動） 11 さまざまなアクティビティⅢ（地域学習・生活文化体験） 12 さまざまなアクティビティⅣ（キャンプファイアー） 13 さまざまなアクティビティⅤ（荒天時の活動） 14 キャンプの安全Ⅰ（事故対応マニュアル） 15 キャンプの安全Ⅱ（危険予知とその対処）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	スキー基礎技術論	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	現場実技によるスキースキルの習得	
授業の進め方	実習にて実践的な知識を学ぶ	
達成目標	スキー検定認定	
教科書	特に使用はしない	
特記		
授業計画	1	初歩動作から一人すべり スキーの楽しさ知る・安全の確保・マナー
	2	八の字から連続回転
	3	連続回転からパラレル
	4	パラレルターンⅠ リズム・タイミング・コース取り(大回り)
	5	パラレルターンⅡ リズム・タイミング・コース取り(小回り)
	6	八の字と平行を組み合わせるⅠ 基礎技能の強化
	7	八の字と平行を組み合わせるⅡ パラレルターンの基礎
	8	八の字と平行を組み合わせるⅢ パラレルターンの応用
	9	八の字と平行を組み合わせるⅣ パラレルターンの習得
	10	スキーを揃えて滑るⅠ 整地・コブ斜面(小回り・大回り)
	11	スキーを揃えて滑るⅡ 整地・コブ斜面 応用技能の強化
	12	リズム変化 状況対応能力の強化
	13	リズム変化 斜度変化
	14	リズム変化 スピード・不整地の対応
	15	バッジテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	スノーボード基礎技術論
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	現場実技によるスノーボードスキルの習得
授業の進め方	実習にて実践的な知識を学ぶ
達成目標	スノーボード検定認定
教科書	特に使用はしない
特記	
授業計画	1 初歩動作から一人すべり スノーボードの楽しさ知る・安全の確保・マナー 2 ノーズドロップからの停止 (ターンと停止) 3 ターンの形、サイズ変更Ⅰ ミドルターン 4 ターンの形、サイズ変更Ⅱ ロングターン 5 ターンの形、サイズ変更Ⅲ ショートターン 6 ターンの形、サイズ変更Ⅳ カービングターンロング 7 ターンの形、サイズ変更Ⅴ カービングターンショート 8 ターンの形、サイズ変更Ⅵ ベーシックカーブロング 9 ターンの形、サイズ変更Ⅶ フリーライディング 10 ターンの形、サイズ変更の応用 ベーシックカーブショート 11 ターンの形、サイズ変更の応用 ベーシックカーブロング 12 ターンの形、サイズ変更の応用 フリーライディング 13 リズム変化 斜度変化 14 リズム変化 スピード・不整地の対応 15 バッジテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	スポーツビジネスキャリアデザイン I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	スポーツ系販売・接客・営業職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	スポーツ系販売・接客・営業職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	スポーツ系販売・接客・営業職に適したスーツの着こなし
	2	スポーツ系販売・接客・営業職に適した身だしなみ
	3	敬語の使い方
	4	スポーツ系販売・接客・営業職で良く聞かれる質疑応答①
	5	スポーツ系販売・接客・営業職で良く聞かれる質疑応答②
	6	筆記試験とは（一般常識試験）①
	7	筆記試験とは（一般常識試験）②
	8	筆記試験とは（適性検査試験）①
	9	筆記試験とは（適性検査試験）②
	10	作文の目的・形式と内容①
	11	作文の目的・形式と内容②
	12	作文の実践テクニック①
	13	作文の実践テクニック②
	14	作文の実践テクニック③
	15	作文の実践テクニック④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	スポーツビジネスキャリアデザインⅡ
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	スポーツ系販売・接客・営業職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	スポーツ系販売・接客・営業職内定へ向けた志望理由を作れるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 仕事選びの基準 2 求人票からの情報収集 3 会社四季報、新聞からの情報収集① 4 会社四季報、新聞からの情報収集② 5 総合職と一般職 6 スポーツ系販売・接客・営業職職種研究① 7 スポーツ系販売・接客・営業職職種研究② 8 スポーツ系販売・接客・営業職職種研究③ 9 スポーツ系販売・接客・営業職職種研究④ 10 スポーツ系販売・接客・営業職職種研究⑤ 11 スポーツ系販売・接客・営業職への志望理由① 12 スポーツ系販売・接客・営業職への志望理由② 13 スポーツ系販売・接客・営業職への志望理由③ 14 スポーツ系販売・接客・営業職への志望理由④ 15 スポーツ系販売・接客・営業職への志望理由⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ビジネスマナー	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1 学校と職場の違い① 2 学校と職場の違い② 3 学校と職場の違い③ 4 職場のマナー① 5 職場のマナー② 6 職場のマナー③ 7 仕事の進め方① 8 仕事の進め方② 9 仕事の進め方③ 10 報告、連絡、相談① 11 報告、連絡、相談② 12 報告、連絡、相談③ 13 挨拶① 14 挨拶② 15 挨拶③	16 笑顔、お辞儀① 17 笑顔、お辞儀② 18 笑顔、お辞儀③ 19 敬語① 20 敬語② 21 敬語③ 22 応対の基本① 23 応対の基本② 24 応対の基本③ 25 電話対応① 26 電話対応② 27 電話対応③ 28 効果測定① 29 効果測定② 30 効果測定③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	IoT実習	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	Raspberry Piを利用したIoTシステムの作成方法について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実習	
達成目標	IoTデバイスの作り方、操作方法、プログラミング、クラウド連携までを体系的に習得する	
教科書	Pythonで動かして学ぶ！あたらしいIoTの教科書	
特記		
授業計画	1 IoTの概要 2 IoTの仕組み 3 RaspberryPiのセットアップ 4 RaspberryPiのセットアップ 5 RaspberryPiを使ってLEDを点灯させる 6 RaspberryPiを使ってLEDを点灯させる 7 RaspberryPiを使用した様々なLED制御 8 RaspberryPiを使用した様々なLED制御 9 センサーによるデータ取得 10 センサーによるデータ取得 11 RaspberryPiを使用した様々なセンサデータ取得 12 RaspberryPiを使用した様々なセンサデータ取得 13 クラウドストレージにデータを保存 14 クラウドストレージにデータを保存 15 様々なクラウドストレージ活用方法	16 様々なクラウドストレージ活用方法 17 IoTとデータの可視化 18 IoTとデータの可視化 19 様々なデータの可視化と活用方法 20 様々なデータの可視化と活用方法 21 IoTとアクチュエーターの遠隔操作 22 IoTとアクチュエーターの遠隔操作 23 アクチュエーターの活用方法 24 アクチュエーターの活用方法 25 IoTとAI 26 IoTとAI 27 IoTとAI 28 IoTシステムにおけるAIの活用方法 29 IoTシステムにおけるAIの活用方法 30 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	フロントエンドフレームワーク	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	Vue.jsの基本文法とシングルページアプリケーションの作成について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実習	
達成目標	Vue.jsを使用してシングルページアプリケーションの作成ができる	
教科書	動かして学ぶ！Vue.js開発入門	
特記		
授業計画	1 Vue.jsの概要 2 Vue.jsのインストール 3 データの表示 4 属性の指定 5 実習 6 ユーザの入力 7 ユーザの入力 8 ユーザの入力 9 ユーザの入力 10 実習 11 ユーザの操作 12 ユーザの操作 13 ユーザの操作 14 実習 15 効果測定	16 条件と繰り返し 17 条件と繰り返し 18 条件と繰り返し 19 条件と繰り返し 20 実習 21 Google Chartsとの連動 22 データの変化の監視 23 データの変化の監視 24 実習 25 データの変化の監視 26 データの変化の監視 27 実習 28 Markdownエディタ 29 総合実習 30 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	フロントエンドフレームワーク	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	Vue.jsの基本文法とシングルページアプリケーションの作成について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実習	
達成目標	Vue.jsを使用してシングルページアプリケーションの作成ができる	
教科書	動かして学ぶ！Vue.js開発入門	
特記		
授業計画	31 アニメーションの表示 32 アニメーションの表示 33 実習 34 Vue.jsでのToDoリスト 35 Vue.jsでのToDoリスト 36 実習 37 部品にまとめる：コンポーネント 38 部品にまとめる：コンポーネント 39 部品にまとめる：コンポーネント 40 部品にまとめる：コンポーネント 41 実習 42 JSONデータの表示 43 JSONデータの表示 44 JSONデータの表示 45 効果測定	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	クラウドコンピューティングB	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	JavaサーブレットとJSPを使用するサーバサイドプログラミングについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実習	
達成目標	ショッピングサイトのWebアプリケーションを開発、クラウドにデプロイをする	
教科書	基礎からのサーブレット/JSP 新版	
特記		
授業計画	1 サーブレット/JSPとは 2 開発環境の準備 3 サーブレットのコンパイルと実行 4 サーブレットの基本 5 サーブレットによるリクエストの処理 6 いろいろなリクエストパラメータ 7 JSPの基本 8 JSPによるリクエストの処理とエラーページ 9 いろいろな画面遷移 10 フィルタの作成 11 サーブレットの詳細 12 HTTPのリクエストとレスポンス 13 データベース 14 Javaとデータベースの連携 15 JavaBeansとDAO	16 スcopeとリクエスト属性 17 セッション 18 クッキー 19 外部データの読み込み 20 アクションタグ 21 EL 22 JSTL 23 MVCパターンとは 24 FrontControllerパターン 25 検索アクションと追加アクションの作成 26 ログイン機能の仕組みと作成 27 ログアウト処理 28 ショッピングサイトの構築 29 ショッピングサイトの構築 30 ショッピングサイトの構築
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	クラウドコンピューティングB		
実務家教員授業			
学部・学科	情報ビジネス学科		
履修年次	2年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択		
授業方法	実習		
授業時間	90時間		
授業コマ数	45コマ		
授業概要	JavaサーブレットとJSPを使用するサーバサイドプログラミングについて学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と実習		
達成目標	ショッピングサイトのWebアプリケーションを開発、クラウドにデプロイをする		
教科書	基礎からのサーブレット/JSP 新版		
特記			
授業計画	31	Webアプリケーションの公開	
	32	WARファイルとは	
	33	デプロイ	
	34	開発演習	
	35	開発演習	
	36	開発演習	
	37	開発演習	
	38	開発演習	
	39	開発演習	
	40	開発演習	
	41	開発演習	
	42	開発演習	
	43	開発演習	
	44	開発演習	
	45	効果測定	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価		
備考			

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	クラウド技術Ⅱ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	コンテナ技術、Dockerについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実習	
達成目標	コンテナの概要を理解し、自らコンテナを作成できるようになる	
教科書	docker 基礎からのコンテナ構築	
特記		
授業計画	1 コンテナの仕組みと利点 2 隔離された実行環境を提供する 3 Dockerを構成する要素 4 Dockerの利点と活用例 5 Dockerの本格運用 6 Dockerを利用できるサーバーを作る 7 Dockerを使うための構成 8 AWS上でEC2を使ったDocker環境を用意する 9 EC2インスタンスを起動する 10 EC2インスタンスにSSH接続する 11 DockerEngineをインストールする 12 DockerでWebサーバーを作る 13 Dockerイメージを探す 14 Dockerコンテナを起動する 15 コンテナの停止と再開	16 ログの確認 17 コンテナの破棄・イメージの破棄 18 Dockerの基本コマンド 19 コンテナ起動から終了までの流れ 20 デタッチとアタッチ 21 コンテナをメンテナンスする 22 1回限り動かすコンテナの使い方 23 コンテナとファイルの独立性 24 データを独立させる 25 バインドマウントとボリュームマウント 26 データのバックアップ 27 bridgeネットワーク 28 ネットワークを新規に作成して通信を分ける 29 hostネットワークとnoneネットワーク 30 2つのコンテナが通信するWordPressの例
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	クラウド技術Ⅱ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	コンテナ技術、Dockerについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実習	
達成目標	コンテナの概要を理解し、自らコンテナを作成できるようになる	
教科書	docker 基礎からのコンテナ構築	
特記		
授業計画	31 Docker Compose 32 Docker Composeを使った例 33 カスタムなイメージを作る 34 カスタムなイメージの作り方と仕組み 35 コンテナからイメージを作る 36 Dockerfileからイメージを作る 37 イメージの保存と読み込み 38 Docker Hubに登録する 39 プライベートなレジストリを使う 40 開発演習 41 開発演習 42 開発演習 43 開発演習 44 開発演習 45 効果測定	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	オブジェクト指向分析設計	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	ユースケース駆動設計によるオブジェクト指向分析設計、アジャイル開発について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実習	
達成目標	分析から設計・実装までのソフトウェアライフサイクルに対応できる	
教科書	システムの分析と設計 図解とUMLによるアプローチ/アジャイル開発への道案内	
特記		
授業計画	1 アジャイル開発の現状と課題 2 アジャイル開発の概要 3 アジャイル開発の特徴 4 アジャイル開発のプロセス 5 アジャイル開発の効果とリスク 6 上流工程を組み込んだ拡張アジャイル開発 7 アジャイル開発の事例 8 実習 9 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計 10 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計 11 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計 12 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計 13 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計 14 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計 15 効果測定	16 各種ツールの準備と実習 17 システム分析の本質 18 図解技法の応用 19 実習 20 実習 21 システム分析・設計の手順 22 UMLの基本 23 UMLの基本 24 システム分析の事例実習 25 システム分析の事例実習 26 システム分析の事例実習 27 システム分析の事例実習 28 システム分析の事例実習 29 システム分析の事例実習 30 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	オブジェクト指向分析設計	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	ユースケース駆動設計によるオブジェクト指向分析設計、アジャイル開発について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実習	
達成目標	分析から設計・実装までのソフトウェアライフサイクルに対応できる	
教科書	システムの分析と設計 図解とUMLによるアプローチ/アジャイル開発への道案内	
特記		
授業計画	31 システム分析の事例実習 32 システム分析の事例実習 33 システム分析の事例実習 34 UMLを用いたシステム設計の基礎 35 システム設計の事例実習 36 システム設計の事例実習 37 システム設計の事例実習 38 総合実習 39 総合実習 40 総合実習 41 総合実習 42 総合実習 43 総合実習 44 総合実習 45 総合実習	46 総合実習 47 総合実習 48 総合実習 49 総合実習 50 総合実習 51 総合実習 52 総合実習 53 総合実習 54 総合実習 55 総合実習 56 総合実習 57 総合実習 58 総合実習 59 総合実習 60 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	卒業制作 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	システム開発における企画立案、ユースケース図及びロバストネス図の作成について学ぶ	
授業の進め方	グループワークによる実習	
達成目標	企画立案をおこない、ユースケース図とロバストネス図を完成させる	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1 卒業研究とは 2 企画立案の留意点 3 業界研究 4 業界研究 5 業界研究 6 業界研究 7 企画立案 8 企画立案 9 企画立案 10 企画立案 11 企画立案 12 企画立案 13 企画立案 14 企画立案 15 企画立案	16 企画立案 17 企画書レビュー 18 企画書レビュー 19 企画書レビュー 20 ドメインモデリングの理論 21 ドメインモデリングの実践 22 ドメインモデリング分析 23 ユースケースモデリングの理論 24 ユースケースモデリングの実践 25 ユースケースモデリング分析 26 ユースケースモデリング分析 27 ユースケースモデリング分析 28 ユースケースモデリング分析 29 ユースケースモデリング分析 30 ユースケースモデリング分析
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	卒業制作 I		
実務家教員授業			
学部・学科	情報ビジネス学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	実習		
授業時間	90時間		
授業コマ数	45コマ		
授業概要	システム開発における企画立案、ユースケース図及びロバストネス図の作成について学ぶ		
授業の進め方	グループワークによる実習		
達成目標	企画立案をおこない、ユースケース図とロバストネス図を完成させる		
教科書	なし		
特記			
授業計画	31	ユースケースモデルレビュー	
	32	ユースケースモデルレビュー	
	33	ユースケースモデルレビュー	
	34	ロバストネス分析の理論	
	35	ロバストネス分析の実践	
	36	ロバストネス分析	
	37	ロバストネス分析	
	38	ロバストネス分析	
	39	ロバストネス分析	
	40	ロバストネス分析	
	41	ロバストネス分析	
	42	ロバストネス図レビュー	
	43	ロバストネス図レビュー	
	44	ロバストネス図レビュー	
	45	効果測定	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価		
備考			

授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	卒業制作Ⅱ			
実務家教員授業				
学部・学科	情報ビジネス学科			
履修年次	2年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	実習			
授業時間	90時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	システム開発におけるシーケンス図とクラス図及びテーブル設計書や画面レイアウトについて学ぶ			
授業の進め方	グループワークによる実習			
達成目標	シーケンス図とクラス図を作成し、テーブル設計書や画面レイアウトを完成させる			
教科書	なし			
特記				
授業計画	1	シーケンス図作成の理論	16	クラス図作成の理論
	2	シーケンス図作成の実践	17	クラス図作成の実践
	3	シーケンス図作成	18	クラス図作成
	4	シーケンス図作成	19	クラス図作成
	5	シーケンス図作成	20	クラス図作成
	6	シーケンス図作成	21	クラス図作成
	7	シーケンス図作成	22	クラス図作成
	8	シーケンス図作成	23	クラス図作成
	9	シーケンス図作成	24	クラス図作成
	10	シーケンス図作成	25	クラス図作成
	11	シーケンス図作成	26	クラス図作成
	12	シーケンス図作成	27	クラス図作成
	13	シーケンス図レビュー	28	クラス図レビュー
	14	シーケンス図レビュー	29	クラス図レビュー
	15	シーケンス図レビュー	30	クラス図レビュー
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			
備考				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	卒業制作Ⅱ		
実務家教員授業			
学部・学科	情報ビジネス学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	実習		
授業時間	90時間		
授業コマ数	45コマ		
授業概要	システム開発におけるシーケンス図とクラス図及びテーブル設計書や画面レイアウトについて学ぶ		
授業の進め方	グループワークによる実習		
達成目標	シーケンス図とクラス図を作成し、テーブル設計書や画面レイアウトを完成させる		
教科書	なし		
特記			
授業計画	31	データベース設計の理論	
	32	データベース設計の実践	
	33	テーブル設計書の作成	
	34	テーブル設計書の作成	
	35	テーブル設計書の作成	
	36	テーブル設計書の作成	
	37	画面レイアウト設計の理論	
	38	画面レイアウト設計の実践	
	39	画面レイアウトの作成	
	40	画面レイアウトの作成	
	41	画面レイアウトの作成	
	42	画面レイアウトの作成	
	43	画面レイアウトの作成	
	44	画面レイアウトの作成	
	45	効果測定	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価		
備考			

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	卒業制作Ⅲ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	150時間	
授業コマ数	75コマ	
授業概要	システム開発におけるテスト仕様書の作成及び実装について学ぶ	
授業の進め方	グループワークによる実習	
達成目標	テスト仕様書の完成及びシステムのメイン機能の完成をめざす	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1 テストの理論 2 テスト仕様書の作成 3 テスト仕様書の作成 4 テスト仕様書の作成 5 テスト仕様書の作成 6 テスト仕様書の作成 7 プログラミング(開発) 8 プログラミング(開発) 9 プログラミング(開発) 10 プログラミング(開発) 11 プログラミング(開発) 12 プログラミング(開発) 13 プログラミング(開発) 14 プログラミング(開発) 15 プログラミング(開発)	16 プログラミング(開発) 17 プログラミング(開発) 18 プログラミング(開発) 19 プログラミング(開発) 20 プログラミング(開発) 21 プログラミング(開発) 22 プログラミング(開発) 23 プログラミング(開発) 24 プログラミング(開発) 25 プログラミング(開発) 26 プログラミング(開発) 27 プログラミング(開発) 28 プログラミング(開発) 29 プログラミング(開発) 30 プログラミング(開発)
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	卒業制作Ⅲ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	150時間	
授業コマ数	75コマ	
授業概要	システム開発におけるテスト仕様書の作成及び実装について学ぶ	
授業の進め方	グループワークによる実習	
達成目標	テスト仕様書の完成及びシステムのメイン機能の完成をめざす	
教科書	なし	
特記		
授業計画	31 テストの実施 32 テストの実施 33 テストの実施 34 テストの実施 35 テストの実施 36 テストの実施 37 テストの実施 38 テストの実施 39 テストの実施 40 テストの実施 41 テストの実施 42 テストの実施 43 テストの実施 44 テストの実施 45 テストの実施	46 プログラミング (改修) 47 プログラミング (改修) 48 プログラミング (改修) 49 プログラミング (改修) 50 プログラミング (改修) 51 プログラミング (改修) 52 プログラミング (改修) 53 プログラミング (改修) 54 プログラミング (改修) 55 プログラミング (改修) 56 プログラミング (改修) 57 プログラミング (改修) 58 プログラミング (改修) 59 プログラミング (改修) 60 プログラミング (改修)
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	卒業制作Ⅲ		
実務家教員授業			
学部・学科	情報ビジネス学科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	実習		
授業時間	150時間		
授業コマ数	75コマ		
授業概要	システム開発におけるテスト仕様書の作成及び実装について学ぶ		
授業の進め方	グループワークによる実習		
達成目標	テスト仕様書の完成及びシステムのメイン機能の完成をめざす		
教科書	なし		
特記			
授業計画	61	テストの実施	
	62	テストの実施	
	63	テストの実施	
	64	テストの実施	
	65	テストの実施	
	66	テストの実施	
	67	テストの実施	
	68	テストの実施	
	69	テストの実施	
	70	テストの実施	
	71	テストの実施	
	72	テストの実施	
	73	テストの実施	
	74	テストの実施	
	75	効果測定	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価		
備考			

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ITキャリアデザインⅢ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	就職活動に関する適性試験や面接試験対策について深く学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と演習	
達成目標	希望している企業からの早期内々定獲得を目指す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 企業研究 2 企業別志望動機作成 3 面接試験における質問研究 4 面接トレーニング 5 SPI対策 6 CAB対策 7 企業研究 8 企業別志望動機作成 9 面接試験における質問研究 10 面接トレーニング 11 SPI対策 12 CAB対策 13 企業研究 14 企業別志望動機作成 15 面接試験における質問研究	16 面接トレーニング 17 SPI対策 18 CAB対策 19 企業研究 20 企業別志望動機作成 21 面接試験における質問研究 22 面接トレーニング 23 SPI対策 24 CAB対策 25 企業研究 26 企業別志望動機作成 27 面接試験における質問研究 28 SPI対策 29 CAB対策 30 SPI対策
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(模擬面接)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ITキャリアデザインⅢ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	就職活動に関する適性試験や面接試験対策について深く学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と演習	
達成目標	希望している企業からの早期内々定獲得を目指す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	31 IT業界時事テーマの決定 1 32 情報収集 33 情報収集 34 ディスカッション 35 ディスカッション 36 まとめレポート作成 37 SPI対策 38 SPI対策 39 CAB対策 40 CAB対策 41 IT業界時事テーマの決定 2 42 情報収集 43 情報収集 44 ディスカッション 45 ディスカッション	46 まとめレポート作成 47 SPI対策 48 SPI対策 49 CAB対策 50 CAB対策 51 IT業界時事テーマの決定 3 52 情報収集 53 情報収集 54 ディスカッション 55 ディスカッション 56 まとめレポート作成 57 SPI対策 58 SPI対策 59 CAB対策 60 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(模擬面接)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ITキャリアデザインⅣ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	社会人に必要なビジネスマナーについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と演習	
達成目標	ビジネスマナーについて理解し状況別の電話応対ができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校と職場の違い 2 職場のマナー 3 仕事の進め方 4 「ほう・れん・そう」とは 5 挨拶の種類 6 笑顔・お辞儀 7 正しい敬語の使い方 8 応対の基本 9 電話応対のマナー 10 電話の受け方 11 電話のかけ方 12 状況別の電話応対 13 状況別の電話応対 14 総合演習 15 効果測定 	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(電話応対)の得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅢ
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 社会人マナー 2 冠婚葬祭マナー 3 贈答マナー 4 会食マナー 5 時事研究・グループ討議① 6 時事研究・グループ討議② 7 時事研究・グループ討議③ 8 時事研究・グループ討議④ 9 時事研究・グループ討議⑤ 10 時事研究・グループ討議⑥ 11 時事研究・グループ討議⑦ 12 時事研究・グループ討議⑧ 13 時事研究・グループ討議⑨ 14 発表① 15 発表②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	コミュニケーション概論
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 グループディスカッションとは① 2 グループディスカッションとは② 3 グループディスカッションの役割① 4 グループディスカッションの役割② 5 抽象テーマ型グループディスカッション① 6 抽象テーマ型グループディスカッション② 7 抽象テーマ型グループディスカッション③ 8 課題解決型グループディスカッション① 9 課題解決型グループディスカッション② 10 課題解決型グループディスカッション③ 11 KJ法① 12 KJ法② 13 資料読み取り型グループディスカッション① 14 資料読み取り型グループディスカッション② 15 資料読み取り型グループディスカッション③
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	コミュニケーション実践
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 グループディスカッションとは 2 グループディスカッションの役割 3 抽象テーマ型グループディスカッション① 4 抽象テーマ型グループディスカッション② 5 抽象テーマ型グループディスカッション③ 6 課題解決型グループディスカッション① 7 課題解決型グループディスカッション② 8 課題解決型グループディスカッション③ 9 資料読み取り型グループディスカッション① 10 資料読み取り型グループディスカッション② 11 資料読み取り型グループディスカッション③ 12 フェルミ推定 13 KJ法 14 その他特殊型① 15 その他特殊型②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	Word、Excelを操作するための基礎的な知識を身につける実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	文書の作成と管理①
	2	文書の作成と管理②
	3	文書の作成と管理③
	4	一般的なビジネス文書の作成①
	5	一般的なビジネス文書の作成②
	6	一般的なビジネス文書の作成③
	7	シンプルなレポートや報告書の作成①
	8	シンプルなレポートや報告書の作成②
	9	シンプルなレポートや報告書の作成③
	10	表、画像、図形を使った文書の作成(1)①
	11	表、画像、図形を使った文書の作成(1)②
	12	表、画像、図形を使った文書の作成(1)③
	13	表、画像、図形を使った文書の作成(1)④
	14	表、画像、図形を使った文書の作成(1)⑤
	15	表、画像、図形を使った文書の作成(1)⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅱ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	文章の作成と管理①
	2	文章の作成と管理②
	3	文章の作成と管理③
	4	表作成の基本操作①
	5	表作成の基本操作②
	6	表作成の基本操作③
	7	表、画像、図形を使った文書の作成(2)①
	8	表、画像、図形を使った文書の作成(2)②
	9	表、画像、図形を使った文書の作成(2)③
	10	見やすく使いやすい表にする編集操作①
	11	見やすく使いやすい表にする編集操作②
	12	見やすく使いやすい表にする編集操作③
	13	見やすく使いやすい表にする編集操作④
	14	見やすく使いやすい表にする編集操作⑤
	15	見やすく使いやすい表にする編集操作⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅲ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	Word：長文を効率良く編集するためのスキルを習得する実習 Excel：目的に沿った編集を効率的に行うためのスキルを習得する実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	Word：段落やセクションを効果的に区切り、長文を効率良く編集できる Excel：複雑な関数や複数のシートを使ってのデータ集計や抽出を行い、目的に沿った編集ができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	文書の作成と管理①
	2	文書の作成と管理②
	3	文書の作成と管理③
	4	数式・関数を活用した集計表の作成①
	5	数式・関数を活用した集計表の作成②
	6	数式・関数を活用した集計表の作成③
	7	ワークシート間の集計①
	8	ワークシート間の集計②
	9	ワークシート間の集計③
	10	グラフの基本①
	11	グラフの基本②
	12	グラフの基本③
	13	目的に応じたグラフの作成と編集①
	14	目的に応じたグラフの作成と編集②
	15	目的に応じたグラフの作成と編集③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅳ
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	Word：応用的な機能を活用し、効率的に正確なビジネス文書を作成するスキル習得のための実習 Excel：複雑なデータ集計を行うことやマクロ機能を用い、より効率的に編集を行うスキル習得のための実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	Word：アウトライン機能や校閲機能を用い、効率的に正確なビジネス文章を作成することができる Excel：ピボットテーブルを使用して複雑なデータ集計を行うことができ、かつ、マクロ機能を使用して自動処理化することができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 データベース機能の利用① 5 データベース機能の利用② 6 データベース機能の利用③ 7 データの抽出① 8 データの抽出② 9 データの抽出③ 10 ピボットテーブル① 11 ピボットテーブル② 12 ピボットテーブル③ 13 マクロによる作業の自動化① 14 マクロによる作業の自動化② 15 マクロによる作業の自動化③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	文化リテラシーⅢ
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	日本文化を理解する(知る)
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	他国の文化や簡単な言語の習得
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 自己紹介 2 時事研究① 3 時事研究② 4 時事研究③ 5 時事研究④ 6 グループディスカッション① 7 グループディスカッション② 8 グループディスカッション③ 9 グループディスカッション④ 10 発表・ディベート① 11 発表・ディベート② 12 発表・ディベート③ 13 発表・ディベート④ 14 発表・ディベート⑤ 15 発表・ディベート⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	英会話入門	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	日常生活での簡単な英会話を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	出会った時のあいさつ
	2	初対面の人と話す
	3	人を紹介する
	4	別れる時のあいさつ
	5	お礼を言う
	6	おわびをする
	7	依頼する
	8	許可を求める
	9	賛成・同意する
	10	反対・否定する
	11	聞き返す
	12	あいづちをうつ
	13	発話①
	14	発話②
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	経営法務入門
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習による知識の習得
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 国際社会に関する基礎用語 2 国際社会に関する事例学習① 3 国際社会に関する事例学習② 4 経済に関する基礎用語 5 経済に関する事例学習 6 労働環境に関する基礎用語 7 労働環境に関する事例学習 8 経営に関する基礎用語 9 経営に関する事例学習① 10 経営に関する事例学習② 11 I T社会に関する基礎用語 12 I T社会に関する事例学習① 13 I T社会に関する事例学習② 14 A Iに関する基礎用語 15 A Iに関する事例学習
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定1級に合格する
教科書	問題集・プリント
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 訓読み・送り仮名・熟語 1 2 訓読み・送り仮名・熟語 2 3 同音異義・異字同訓 4 誤字訂正、類義語・反対語 5 漢字の意味・使い方 1 6 漢字の意味・使い方 2 7 漢字の意味・使い方 3 8 ことわざ・故事成語・慣用句 1 9 ことわざ・故事成語・慣用句 2 10 特殊な漢字の読み書き 1 11 特殊な漢字の読み書き 2 12 項目別模擬試験 1 13 項目別模擬試験 2 14 直前模擬試験 1 15 直前模擬試験 2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する
達成目標	電卓技能検定1・2級に合格する
教科書	検定対策テキストおよび問題集
特記	
授業計画	1 小数点以下の取り扱い諸注意 2 電卓実践演習1 3 電卓実践演習2 4 電卓実践演習3 5 電卓実践演習4 6 電卓実践演習5 7 電卓実践演習6 8 電卓実践演習7 9 電卓実践演習8 10 電卓実践演習9 11 電卓実践演習10 12 電卓実践演習11 13 電卓実践演習12 14 電卓実践演習13 15 電卓実践演習14
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実務会計基礎	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	財務諸表を理解し、会計の構造を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会計上・税務上のポイントを捉え経理・財務の基礎的な業務知識を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 売掛債権管理① 2 売掛債権管理② 3 売掛債権管理③ 4 売掛債権管理④ 5 買掛債務管理① 6 買掛債務管理② 7 買掛債務管理③ 8 買掛債務管理④ 9 在庫管理① 10 在庫管理② 11 在庫管理③ 12 在庫管理④ 13 固定資産① 14 固定資産② 15 固定資産③	16 固定資産④ 17 ソフトウェア管理① 18 ソフトウェア管理② 19 ソフトウェア管理③ 20 ソフトウェア管理④ 21 原価管理① 22 原価管理② 23 原価管理③ 24 原価管理④ 25 経費管理① 26 経費管理② 27 経費管理③ 28 経費管理④ 29 月次業務管理① 30 月次業務管理②
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実務会計基礎	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	財務諸表を理解し、会計の構造を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会計上・税務上のポイントを捉え経理・財務の基礎的な業務知識を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	31 月次業務管理③ 32 月次業務管理④ 33 税効果計算業務① 34 税効果計算業務② 35 税効果計算業務③ 36 税効果計算業務④ 37 税効果計算業務⑤ 38 税効果計算業務⑥ 39 税効果計算業務⑦ 40 消費税申告業務① 41 消費税申告業務② 42 消費税申告業務③ 43 消費税申告業務④ 44 消費税申告業務⑤ 45 消費税申告業務⑥	46 消費税申告業務⑦ 47 法人税申告業務① 48 法人税申告業務② 49 法人税申告業務③ 50 法人税申告業務④ 51 法人税申告業務⑤ 52 法人税申告業務⑥ 53 法人税申告業務⑦ 54 税務調査対応① 55 税務調査対応② 56 税務調査対応③ 57 税務調査対応④ 58 税務調査対応⑤ 59 税務調査対応⑥ 60 税務調査対応⑦
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実務会計応用
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	決算書の構図を理解し、経営活動との関係性を学習する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	経理・財務スキル検定ランクCレベルの知識を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 現金出納帳管理 2 手形・小切手管理 3 有価証券管理 4 財務保証管理 5 貸付金業務 6 借入金業務 7 社債管理 8 デリバティブ取引管理 9 外貨建取引管理 10 資金管理 11 単年決算業務 12 連結決算管理 13 中長期軽々管理 14 年次予算管理① 15 年次予算管理②
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	時事
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	主要な時事の基本用語が理解できている 自ら時事に関する情報収集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 用語知識① 2 用語知識② 3 用語知識③ 4 用語知識④ 5 用語知識⑤ 6 考え方① 7 考え方② 8 考え方③ 9 考え方④ 10 発表① 11 発表② 12 発表③ 13 個人研究① 14 個人研究② 15 個人研究③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	Word応用	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	MOS Wordレベルの操作を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	表の作成
	2	表の変更①
	3	表の変更②
	4	リストの作成、変更①
	5	リストの作成、変更②
	6	参照のための情報・記号の作成、管理①
	7	参照のための情報・記号の作成、管理②
	8	標準の参考資料作成、管理①
	9	標準の参考資料作成、管理②
	10	グラフィック要素の挿入①
	11	グラフィック要素の挿入②
	12	グラフィック要素の書式設定①
	13	グラフィック要素の書式設定②
	14	SmartArtの挿入、書式設定①
	15	SmartArtの挿入、書式設定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	Excel時短術	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	Excelの資料作成、作業スピードを向上するテクニックを習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	Excelの実践的なテクニックを習得することで、業務の時短に繋がる仕事術を身に着ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 時短に効くショートカットキー① 2 入力の時短① 3 入力の時短② 4 入力の時短③ 5 入力の時短④ 6 二度手間を防ぐ① 7 二度手間を防ぐ② 8 二度手間を防ぐ③ 9 集計作業効率化① 10 集計作業効率化② 11 集計作業効率化③ 12 関数による計算・判定① 13 関数による計算・判定② 14 関数による計算・判定③ 15 データの整理・集計①	16 データの整理・集計② 17 データの整理・集計③ 18 表の作成① 19 表の作成② 20 表の作成③ 21 グラフの作成・修正① 22 グラフの作成・修正② 23 グラフの作成・修正③ 24 印刷操作① 25 印刷操作② 26 印刷操作③ 27 実例演習① 28 実例演習② 29 実例演習③ 30 実例演習④
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ビジネスデータ分析	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	データを活用するための基本的な知識とExcelを使用したデータ分析を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	仕事で使うデータの実践的なデータ分析手法を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	平均値
	2	中央値
	3	最頻値
	4	レンジ
	5	標準偏差
	6	外れ値の検出
	7	度数分布表
	8	標準化
	9	移動平均
	10	季節調整
	11	集計
	12	散布図
	13	相関
	14	回帰分析
	15	最適化
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	マーケティング概論	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 顧客満足① 2 顧客満足② 3 マーケティングの必要性① 4 マーケティングの必要性② 5 情報収集と分析① 6 情報収集と分析② 7 流通チャネル① 8 流通チャネル② 9 プロモーション① 10 プロモーション② 11 財務知識① 12 財務知識② 13 事例研究① 14 事例研究② 15 確認テスト①	16 成功事例から学ぶマーケティング 17 成功事例から学ぶマーケティング 18 成功事例から学ぶマーケティング 19 成功事例から学ぶマーケティング 20 成功事例から学ぶマーケティング 21 成功事例から学ぶマーケティング 22 成功事例から学ぶマーケティング 23 成功事例から学ぶマーケティング 24 成功事例から学ぶマーケティング 25 成功事例から学ぶマーケティング 26 成功事例から学ぶマーケティング 27 成功事例から学ぶマーケティング 28 成功事例から学ぶマーケティング 29 成功事例から学ぶマーケティング 30 成功事例から学ぶマーケティング
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	マーケティング基礎	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習及び講義	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 店舗データの理解① 2 店舗データの理解② 3 マーケティングの流れ① 4 マーケティングの流れ② 5 売上構成分析① 6 売上構成分析② 7 来店客分析① 8 来店客分析② 9 商品分析① 10 商品分析② 11 費用分析① 12 費用分析② 13 課題抽出① 14 課題抽出② 15 アンケート調査分析①	16 アンケート調査分析② 17 企画作成① 18 企画作成② 19 企画作成③ 20 企画作成④ 21 様々なマーケティング① 22 様々なマーケティング② 23 プレ卒業研究① 24 プレ卒業研究② 25 プレ卒業研究③ 26 プレ卒業研究④ 27 プレ卒業研究⑤ 28 プレ卒業研究⑥ 29 プレ卒業研究⑦ 30 プレ卒業研究⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	販売職ビジネスマナー	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	接客に関する実践的な学習をする	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	接客に関する実践的な演習を通じて、習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1 接客販売、営業マナーとは① 2 接客販売、営業マナーとは② 3 接客販売、営業マナーとは③ 4 接客販売の心得① 5 接客販売の心得② 6 接客販売の心得③ 7 お客様の心理① 8 お客様の心理② 9 お客様の心理③ 10 店内接客の基本① 11 店内接客の基本② 12 店内接客の基本③ 13 演習① 14 演習② 15 演習③	16 営業の心得① 17 営業の心得② 18 営業の心得③ 19 訪問の流れ① 20 訪問の流れ② 21 訪問の流れ③ 22 演習① 23 演習② 24 演習③ 25 商談の進め方① 26 商談の進め方② 27 商談の進め方③ 28 商品説明① 29 商品説明② 30 商品説明③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	販売職ビジネスマナー	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	接客に関する実践的な学習をする	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	接客に関する実践的な演習を通じて、習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	31 演習① 32 演習② 33 演習③ 34 接客マナーとは① 35 接客マナーとは② 36 接客マナーとは③ 37 接客の流れ① 38 接客の流れ② 39 接客の流れ③ 40 演習① 41 演習② 42 演習③ 43 効果測定① 44 効果測定② 45 効果測定③	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	卒業研究・発表	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	150時間	
授業コマ数	75コマ	
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 業界分析① 2 業界分析② 3 業界分析③ 4 業界分析④ 5 情報収集① 6 情報収集② 7 情報収集③ 8 情報収集④ 9 店舗分析① 10 店舗分析② 11 店舗分析③ 12 店舗分析④ 13 店舗見学① 14 店舗見学② 15 店舗見学③	16 店舗見学④ 17 課題抽出① 18 課題抽出② 19 課題抽出③ 20 課題抽出④ 21 課題抽出⑤ 22 課題抽出⑥ 23 課題抽出⑦ 24 課題抽出⑧ 25 仮説① 26 仮説② 27 仮説③ 28 仮説④ 29 調査・検証① 30 調査・検証②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	卒業研究・発表	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	150時間	
授業コマ数	75コマ	
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	31 調査・検証③ 32 調査・検証④ 33 調査・検証⑤ 34 調査・検証⑥ 35 調査・検証⑦ 36 企画案作成① 37 企画案作成② 38 企画案作成③ 39 企画案作成④ 40 企画案作成⑤ 41 企画案作成⑥ 42 企画案作成⑦ 43 企画案作成⑧ 44 企画案作成⑨ 45 企画案作成⑩	46 企画案作成⑪ 47 企画案作成⑫ 48 中間発表① 49 中間発表② 50 中間発表③ 51 中間発表④ 52 中間発表⑤ 53 中間発表⑥ 54 中間発表⑦ 55 中間発表⑧ 56 再検証① 57 再検証② 58 再検証③ 59 再検証④ 60 再検証⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	卒業研究・発表	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	150時間	
授業コマ数	75コマ	
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	61 再検証⑥ 62 再検証⑦ 63 再検証⑧ 64 最終発表① 65 最終発表② 66 最終発表③ 67 最終発表④ 68 最終発表⑤ 69 最終発表⑥ 70 最終発表⑦ 71 最終発表⑧ 72 代表によるコンテストの実施① 73 代表によるコンテストの実施② 74 代表によるコンテストの実施③ 75 代表によるコンテストの実施④	
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	英会話基礎
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	販売接客に関連する基本的な英会話の事例を元に学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	場面別の簡単な英会話を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 場面別英会話 2 場面別英会話 3 場面別英会話 4 場面別英会話 5 場面別英会話 6 場面別英会話 7 場面別英会話 8 場面別英会話 9 場面別英会話 10 場面別英会話 11 場面別英会話 12 場面別英会話 13 場面別英会話 14 場面別英会話 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	経営管理入門	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	社会の基本的な成り立ちや考え方・専門用語を理解する	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	社会人として必要な会社の仕組み・専門用語を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 企業のライフステージ① 2 企業のライフステージ② 3 経営理念と経営戦略① 4 経営理念と経営戦略② 5 経営企画の必要性、事業承継① 6 経営企画の必要性、事業承継② 7 中小企業の資金調達① 8 中小企業の資金調達② 9 企業を取り巻くリスク① 10 企業を取り巻くリスク② 11 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析① 12 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析② 13 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析③ 14 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析④ 15 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析⑤	16 外部環境分析の重要性、マクロ環境分析・業界分析⑥ 17 利益管理、予算管理① 18 利益管理、予算管理② 19 企業形態としての会社、株式会社の機関① 20 企業形態としての会社、株式会社の機関② 21 株式の譲渡と相続、株主総会① 22 株式の譲渡と相続、株主総会② 23 取締役、代表取締役、取締役会① 24 取締役、代表取締役、取締役会② 25 会社の事業の拡大と整理① 26 会社の事業の拡大と整理② 27 コンプライアンス経営の実践① 28 コンプライアンス経営の実践② 29 募集・採用、勤怠管理、退職・解雇① 30 募集・採用、勤怠管理、退職・解雇②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	事務職ビジネスマナー
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	ビジネス電話対応、接遇に関する実践的な学習をする
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	電話対応、接遇に関する実践的な演習をし、習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 社内におけるビジネス電話対応① 2 社内におけるビジネス電話対応② 3 社内におけるビジネス電話対応③ 4 社内におけるビジネス電話対応④ 5 社内におけるビジネス電話対応⑤ 6 効果測定① 7 社内における電話対応、受付、接遇などの総合マナー① 8 社内における電話対応、受付、接遇などの総合マナー② 9 社内における電話対応、受付、接遇などの総合マナー③ 10 社内における電話対応、受付、接遇などの総合マナー④ 11 社内における電話対応、受付、接遇などの総合マナー⑤ 12 社内における電話対応、受付、接遇などの総合マナー⑥ 13 社内における電話対応、受付、接遇などの総合マナー⑦ 14 社内における電話対応、受付、接遇などの総合マナー⑧ 15 効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	経理実務	
実務家教員授業	○	
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類についての知識を習得するための講義	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記	会計事務所にて実務を経験した者が、所得税・住民税・社会保険料の納付に関する実例を交えながら講義を実施	
授業計画	1 経理・総務の年間カリキュラム 2 小切手・手形の実務上のポイント 3 入出金伝票と現金出納帳 4 当座預金出納帳と手形記入帳 5 交際費、福利厚生費及び会議費用の区分 6 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理① 7 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理② 8 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理③ 9 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理④ 10 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑤ 11 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑥ 12 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務① 13 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務② 14 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務③ 15 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）①	16 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）② 17 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）③ 18 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）① 19 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）② 20 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）③ 21 個人住民税の徴収及び納付① 22 個人住民税の徴収及び納付② 23 印紙税の基礎知識 24 受取利息の会計処理 25 消費税法の概要① 26 消費税法の概要② 27 消費税の会計処理 28 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）① 29 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）② 30 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	給与計算実務
実務家教員授業	○
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知識を習得する講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	所得税・住民税の納付税額を算定することができる 年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	会計事務所にて実務を経験した者が、所得税・住民税・社会保険料の納付に関する実例を交えながら講義を実施
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 所得税の基礎知識① 2 所得税の基礎知識② 3 所得税の基礎知識③ 4 年末調整のしかた① 5 年末調整のしかた② 6 年末調整のしかた③ 7 法定調書の流れ① 8 法定調書の流れ② 9 法定調書の流れ③ 10 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出① 11 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出② 12 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出③ 13 労働保険の概要及び会計処理① 14 労働保険の概要及び会計処理② 15 労働保険の概要及び会計処理③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	財務会計	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度についての理解を深めるための講義	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	財務会計の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 外貨建会計① 2 外貨建会計② 3 外貨建会計③ 4 外貨建会計④ 5 リース取引① 6 リース取引② 7 リース取引③ 8 リース取引④ 9 キャッシュ・フロー計算書① 10 キャッシュ・フロー計算書② 11 キャッシュ・フロー計算書③ 12 キャッシュ・フロー計算書④ 13 キャッシュ・フロー計算書⑤ 14 キャッシュ・フロー計算書⑥ 15 税効果会計①	16 税効果会計② 17 税効果会計③ 18 税効果会計④ 19 税効果会計⑤ 20 税効果会計⑥ 21 退職給付会計① 22 退職給付会計② 23 退職給付会計③ 24 退職給付会計④ 25 退職給付会計⑤ 26 消費税法① 27 消費税法② 28 消費税法③ 29 消費税法④ 30 消費税法⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	財務会計	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度についての理解を深めるための講義	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	財務会計の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	31 消費税法⑥ 32 消費税法⑦ 33 消費税法⑧ 34 消費税法⑨ 35 消費税法⑩ 36 法人税法① 37 法人税法② 38 法人税法③ 39 法人税法④ 40 法人税法⑤ 41 法人税法⑥ 42 法人税法⑦ 43 法人税法⑧ 44 法人税法⑨ 45 法人税法⑩	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	販売仕入管理
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	販売、仕入に関する店舗運営上の管理業務に関する知識を習得する講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	販売、仕入の事務手続きについて流れを理解し、証憑書類の記入や代金決済状況の管理ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 売上事務の流れ 2 納品書の作成と売上計上① 3 納品書の作成と売上計上② 4 請求書の作成と代金回収管理① 5 請求書の作成と代金回収管理② 6 請求書の作成と代金回収管理③ 7 複数の得意先との取引① 8 複数の得意先との取引② 9 複数の得意先との取引③ 10 仕入事務の流れ 11 仕入管理の記帳① 12 仕入管理の記帳② 13 仕入代金の支払いと買掛金管理① 14 仕入代金の支払いと買掛金管理② 15 仕入代金の支払いと買掛金管理③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	F P 基礎	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	日常生活に関わる様々な「お金」の知識を身につける	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	F P 3級の基礎知識を理解し、日常生活に関わる様々な「お金」の知識を身につけ、説明できるようになる。また、資産運用や管理、そのリスクについて簡単に説明できるようになる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 ライフプランニングと資金計画① 2 ライフプランニングと資金計画② 3 ライフプランニングと資金計画③ 4 ライフプランニングと資金計画④ 5 ライフプランニングと資金計画⑤ 6 ライフプランニングと資金計画⑥ 7 ライフプランニングと資金計画⑦ 8 ライフプランニングと資金計画⑧ 9 ライフプランニングと資金計画⑨ 10 ライフプランニングと資金計画⑩ 11 ライフプランニングと資金計画⑪ 12 ライフプランニングと資金計画⑫ 13 リスク管理① 14 リスク管理② 15 リスク管理③	16 リスク管理④ 17 リスク管理⑤ 18 リスク管理⑥ 19 リスク管理⑦ 20 リスク管理⑧ 21 リスク管理⑨ 22 金融資産運用① 23 金融資産運用② 24 金融資産運用③ 25 金融資産運用④ 26 金融資産運用⑤ 27 金融資産運用⑥ 28 金融資産運用⑦ 29 金融資産運用⑧ 30 金融資産運用⑨
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	F P 基礎	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	日常生活に関わる様々な「お金」の知識を身につける	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	F P 3級の基礎知識を理解し、日常生活に関わる様々な「お金」の知識を身につけ、説明できるようになる。また、資産運用や管理、そのリスクについて簡単に説明できるようになる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	31 タックスプランニング① 32 タックスプランニング② 33 タックスプランニング③ 34 タックスプランニング④ 35 タックスプランニング⑤ 36 タックスプランニング⑥ 37 タックスプランニング⑦ 38 タックスプランニング⑧ 39 タックスプランニング⑨ 40 タックスプランニング⑩ 41 タックスプランニング⑪ 42 タックスプランニング⑫ 43 不動産① 44 不動産② 45 不動産③	46 不動産④ 47 不動産⑤ 48 不動産⑥ 49 不動産⑦ 50 不動産⑧ 51 不動産⑨ 52 相続・事業承継① 53 相続・事業承継② 54 相続・事業承継③ 55 相続・事業承継④ 56 相続・事業承継⑤ 57 相続・事業承継⑥ 58 相続・事業承継⑦ 59 相続・事業承継⑧ 60 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	F P 総合
実務家教員授業	
学部・学科	情報ビジネス学科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	「お金」に関する総合的な知識を深め、経済社会との関係性を理解する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	F P 3級に合格できるレベルの知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 ライフプランニングと資金計画① (応用編) 2 ライフプランニングと資金計画② (応用編) 3 ライフプランニングと資金計画③ (応用編) 4 リスク管理① (応用編) 5 リスク管理② (応用編) 6 金融資産運用① (応用編) 7 金融資産運用② (応用編) 8 タックスプランニング① (応用編) 9 タックスプランニング② (応用編) 10 タックスプランニング③ (応用編) 11 不動産① (応用編) 12 不動産② (応用編) 13 相続・事業承継① (応用編) 14 相続・事業承継② (応用編) 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	英語	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	英語の基本構造を理解し、総合基礎英語力を身に付けることを目的とする。リスニングやヒアリングを実施しながら学ぶ。	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	ビジネスに必要な実践的な英語スキルを身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 ①英語の原則 ②代名詞の格 ③関係代名詞 2 ①英語の原則 再確認 ②時・条件を表す副詞節についての導入 3 ①各品詞の役割 ②時・条件を表す副詞節についての解説 4 ①英語のしくみ(各品詞の働き、自動詞・他動詞について) 5 ①付加疑問文・感嘆文・命令文 6 ①第5文型 (O=S、C=Vのパターン) 7 ①前置詞 ②長文内での代名詞が何を指しているか ③基本時制(時制の一致) 8 ①基本時制、変化形 9 ①平叙文、基本時制、変化形の再確認 10 ①状態動詞、動作動詞について ②動名詞・代名詞の格の確認 11 ①S文型、文の要素など ②受動態のポイント「0の数が1個減る」 12 ①助動詞 ②have to と mustの違いについて ③可算名詞、不可算名詞の違い 13 ①5W1Hについて 14 リスニング① 15 ①序数について ②分数について	16 ①形容詞節についての復習 ②完全、不完全についての復習 ③than, asは接続詞 17 リスニング② 18 ①単数のものを指すのに、複数形の名詞など ②イギリス英語とアメリカ英語の違い 19 ①先行詞の復習 ②完全、不完全の復習 ③文型についての確認 20 リスニング③ 21 ①単複同形の名詞などについて ②イギリス英語とアメリカ英語の違い 22 ①第5文型 (OがS、CがVの関係) ②tillとbyの違いや、betweenとamongの違いについて 23 リスニング④ 24 ①発音記号の読み方 ② 'l' と 'r' の音の違いについて 25 ①厳密なS=Cの関係が条件 ②他動詞 ③M(修飾語句)の説明。 26 ①基本時制を確認後、変化形を調べる ②受動態(0の数が減る)や自動詞・他動詞 27 ①動名詞や分詞について ②複合問題(前置詞と受動態など)の復習 28 ①関係詞について(完全・不完全やwhatについて) 29 ①比較、形容詞の語順について 30 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	体育	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習及び講義	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	体育の総合演習を通して、実技及び理論の学習を行うとともに、スポーツを通じた運動の意義を理解する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基礎的な自己の体育能力の把握とその維持増進	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1 ガイダンス 2 スポーツの概念と歴史 3 スポーツとは何かーその発生と展開 4 各種スポーツの理解と安全 5 各種スポーツの実践① 6 各種スポーツの実践② 7 各種スポーツの実践③ 8 各種スポーツの実践④ 9 各種スポーツの実践⑤ 10 初歩動作から一人すべり スキーの楽しさ知る・安全の確保・マナー 11 八の字から連続回転 12 連続回転からパラレル 13 パラレルターン リズム・タイミング・コース取り 14 八の字と平行を組み合わせる I 15 八の字と平行を組み合わせる II	16 スキーを揃えて滑る 整地・コブ斜面 17 リズム変化 状況対応能力の強化 I 18 リズム変化 状況対応能力の強化 II 19 リズム変化 スピード・不整地の対応 I 20 リズム変化 スピード・不整地の対応 II 21 バッジテスト 22 初歩動作から一人すべり スノーボードの楽しさ知る・安全の確保・マナー 23 ノーズドロップからの停止 (ターンと停止) 24 ターンの形、サイズ変更の基礎 25 ターンの形、サイズ変更の応用 26 リズム変化 斜度変化 I 27 リズム変化 斜度変化 II 28 リズム変化 スピード・不整地の対応 I 29 リズム変化 スピード・不整地の対応 II 30 バッジテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	経営学総論	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	ヒト・モノ・カネ等の資源を集め、消費者に受け入れられる製品を生産するため、企業がいかに行動すべきかを研究する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	企業の仕組みや組織戦略などを身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1 ガイダンス 2 アメリカ経営学説① 3 アメリカ経営学説② 4 アメリカ経営学説③ 5 組織構造論① 6 組織構造論② 7 組織構造論③ 8 組織文化論① 9 組織文化論② 10 組織文化論③ 11 コンフリクト論① 12 コンフリクト論② 13 動機付け理論① 14 動機付け理論② 15 リーダーシップ理論①	16 リーダーシップ理論② 17 確認テスト 18 経営戦略論の基礎概念 19 多角化戦略 20 国際化戦略 21 競争戦略① 22 競争戦略② 23 経営戦略の展開方式① 24 経営戦略の展開方式② 25 技術経営① 26 技術経営② 27 経営戦略論の学説史 28 日本経営と日本の企業グループ 29 コーポレートガバナンス論 30 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	マーケティング研究	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	実習及び講義	
授業時間	240時間	
授業コマ数	120コマ	
授業概要	マーケティングの知識・運用知識の習得を目的とする。各種マーケティング手法を活用した経営企画案を作成。企画発表会を実施、その後フィードバックをする。	
授業の進め方	マーケティング知識を習得し、グループごとに企画の立案、発表を行う	
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する	
教科書	テキスト、参考書	
特記		
授業計画	1 店舗データの理解① 2 店舗データの理解② 3 店舗データの理解③ 4 店舗データの理解④ 5 マーケティングの流れ① 6 マーケティングの流れ② 7 マーケティングの流れ③ 8 マーケティングの流れ④ 9 マーケティングの流れ⑤ 10 売上構成分析① 11 売上構成分析② 12 売上構成分析③ 13 売上構成分析④ 14 売上構成分析⑤ 15 売上構成分析⑥	16 売上構成分析⑦ 17 売上構成分析⑧ 18 来店客分析① 19 来店客分析② 20 来店客分析③ 21 来店客分析④ 22 来店客分析⑤ 23 来店客分析⑥ 24 来店客分析⑦ 25 来店客分析⑧ 26 来店客分析⑨ 27 来店客分析⑩ 28 商品分析① 29 商品分析② 30 商品分析③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	マーケティング研究	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	実習及び講義	
授業時間	240時間	
授業コマ数	120コマ	
授業概要	マーケティングの知識・運用知識の習得を目的とする。各種マーケティング手法を活用した経営企画案を作成。企画発表会を実施、その後フィードバックをする。	
授業の進め方	マーケティング知識を習得し、グループごとに企画の立案、発表を行う	
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する	
教科書	テキスト、参考書	
特記		
授業計画	31 商品分析④ 32 商品分析⑤ 33 商品分析⑥ 34 商品分析⑦ 35 商品分析⑧ 36 商品分析⑨ 37 商品分析⑩ 38 商品分析⑪ 39 商品分析⑫ 40 費用分析① 41 費用分析② 42 費用分析③ 43 費用分析④ 44 費用分析⑤ 45 費用分析⑥	46 費用分析⑦ 47 費用分析⑧ 48 費用分析⑨ 49 費用分析⑩ 50 費用分析⑪ 51 費用分析⑫ 52 費用分析⑬ 53 費用分析⑭ 54 費用分析⑮ 55 課題抽出① 56 課題抽出② 57 課題抽出③ 58 課題抽出④ 59 課題抽出⑤ 60 課題抽出⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	マーケティング研究	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	実習及び講義	
授業時間	240時間	
授業コマ数	120コマ	
授業概要	マーケティングの知識・運用知識の習得を目的とする。各種マーケティング手法を活用した経営企画案を作成。企画発表会を実施、その後フィードバックをする。	
授業の進め方	マーケティング知識を習得し、グループごとに企画の立案、発表を行う	
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する	
教科書	テキスト、参考書	
特記		
授業計画	61 課題抽出⑦ 62 課題抽出⑧ 63 課題抽出⑨ 64 課題抽出⑩ 65 アンケート調査分析① 66 アンケート調査分析② 67 アンケート調査分析③ 68 アンケート調査分析④ 69 アンケート調査分析⑤ 70 アンケート調査分析⑥ 71 企画作成① 72 企画作成② 73 企画作成③ 74 企画作成④ 75 企画作成⑤	76 企画作成⑥ 77 企画作成⑦ 78 企画作成⑧ 79 企画作成⑨ 80 企画作成⑩ 81 企画作成⑪ 82 企画作成⑫ 83 企画作成⑬ 84 企画作成⑭ 85 企画作成⑮ 86 企画作成⑯ 87 企画作成⑰ 88 企画作成⑱ 89 企画作成⑲ 90 企画作成⑳
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	マーケティング研究	
実務家教員授業		
学部・学科	情報ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	実習及び講義	
授業時間	240時間	
授業コマ数	120コマ	
授業概要	マーケティングの知識・運用知識の習得を目的とする。各種マーケティング手法を活用した経営企画案を作成。企画発表会を実施、その後フィードバックをする。	
授業の進め方	マーケティング知識を習得し、グループごとに企画の立案、発表を行う	
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する	
教科書	テキスト、参考書	
特記		
授業計画	91 様々なマーケティング① 92 様々なマーケティング② 93 様々なマーケティング③ 94 様々なマーケティング④ 95 様々なマーケティング⑤ 96 様々なマーケティング⑥ 97 プレ卒業研究① 98 プレ卒業研究② 99 プレ卒業研究③ 100 プレ卒業研究④ 101 プレ卒業研究⑤ 102 プレ卒業研究⑥ 103 プレ卒業研究⑦ 104 プレ卒業研究⑧ 105 プレ卒業研究⑨	106 プレ卒業研究⑩ 107 プレゼンテーション① 108 プレゼンテーション② 109 プレゼンテーション③ 110 プレゼンテーション④ 111 プレゼンテーション⑤ 112 プレゼンテーション⑥ 113 プレゼンテーション⑦ 114 プレゼンテーション⑧ 115 プレゼンテーション⑨ 116 プレゼンテーション⑩ 117 プレゼンテーション⑪ 118 マーケティングコンテスト① 119 マーケティングコンテスト② 120 マーケティングコンテスト③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		